

りつめい

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
240

2010
APRIL

巻頭企画

ホームカミングデーで
会いましょう！

Brilliance
輝くひと

72

水中で美しさを追い続ける
シルク・ドゥ・ソレイユ「OAO」のパフォーマー
北尾 佳奈子 さん（04 経営）

03 巻頭企画

ホームカミングデーで 会いましょう!

01 輝くひと

北尾佳奈子 さん

10 Ritsumei Interview

「家庭にロボット」が当たり前の
社会づくりに貢献したい。

株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長 ロボットクリエイター
高橋智隆 さん

14 都道府県校友会長を訪ねて

徳島県校友会会長 宮崎房子 さん
兵庫県校友会会長 辻 寛 さん

16 立命館 思い出の場所はいま…

18 校友会報からひととく校友会の歩み

19 校友会ネットワーク

20 オール立命館校友大会2010のご案内

全国都道府県校友会会長会議、事務局長・幹事長会議報告

22 都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

24 立命館はご卒業後もあなたのそばに

26 立命館の研究者たち

映像学部 細井浩一教授

28 学生のスポーツ&イベント

30 キャンパストピックス

33 輝いています、ときの人

西條 薫 さん・福島加南子 さん

34 INFORMATION

35 編集室から



表紙の人

シルク・ドゥ・ソレイユ「O (オー)」のパフォーマー
北尾佳奈子 さん ('04経営)



最後列の右から2人目が北尾さん

水中で美しさを追いつける

幼い頃にテレビで見た五輪のシンクロナイズドスイミングの美しさに感動し、5歳で水泳を始めた。在学中にはシンクロナイズドスイミング日本代表としてアテネ五輪に出場、銀メダルを獲得。現在は世界最高峰のエンターテインメント集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」(以下、シルクと略)のメンバーで、水中の演者としてラスベガスの劇場で活躍している。

「シルク」は、サーカスにストーリー性を組み込んだ様々なショーを世界各国で展開している。北尾さんはショーの本場・ラスベガスの中で、最もチケット取得が困難とされている、水の世界を舞台にしたショー「O (オー)」のメンバーで、2006年からシンクロナイズドスイマーとして出演中。公演はラスベガスにあるホテルの常設劇場で毎日2回、行われている。

「オー」はフランス語で「水」を意味する言葉で、この舞台は簡単に言うと、旅する主人公が様々な経験を通じて成長していくというストーリー。しかし、その内容は見る人によって様々に解釈できるという曖昧さも併せ持つ。水中や水上でのハイレベルなアクロバットやスイマーの演技などが堪能できることに加え、舞台が一瞬で巨大なプールに変身する特殊な装置など、他では味わえない世界観が特徴。北尾さんが演じるのは“水の精のような”役で、目の周りを真っ白に化粧し、幻想的な衣装をまとい、パフォーマンスを繰り広げる。

「シルク」との縁も、やはり感動だった。アテネ五輪後は達成感と安堵の一方で、次の目標が見えなかった。そんな頃「シルク」のオーディションを受け、初めて「オー」を観賞。その衝撃は大きく、ここで演じることが新たな目標となり、幸運にも出演オファーが舞い込んできた。

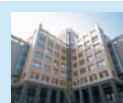
日々、帰宅時間は深夜1時を回るなど、ハードな生活を送る北尾さんにとって、立命館で過ごした4年間は心の支えになっている。「あの時と比べると、どんなことも乗り越えられる」と、シンクロと学業の両立で多忙を極めていた当時を振り返った。

趣味は友人と活動する演劇のボランティアや洋服デザインなど多彩。仕事とはいえ、同じ舞台を毎日実演するとなると飽きが来てもおかしくないが、オフの時間で趣味に打ち込むことがモチベーション維持につながっているようだ。水との付き合いは23年になる。あの頃と変わらず今も、水中で美しさを追い求めている。

立命館大学

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

ホームカミングデーで会いましょう!



HOMECOMING DAY 2010

2010年6月6日[日] 10:00—17:00 (予定)

立命館大学 衣笠キャンパス(京都)、びわこ・くさつキャンパス(滋賀)

主催 立命館大学

共催

立命館大学校友会、立命館大学父母教育後援会



どうぞご家族でお越しください!

母校立命館大学が校友の皆さまを温かくお迎えする一日——。それが「ホームカミングデー」。校友の皆さまが旧友と再会し、懐かしのひとときを過ごすとともに、新たに交流の輪を広げていただけるイベントです。母校に帰り、学生時代に思いを馳せながら、現在の立命館大学にも触れてみませんか? 会場にはお子様が遊べる場所も用意しておりますので、ご家族そろってご来場ください。

いよいよ開催まで2カ月余りとなりました。6月6日(日)にたくさんの校友の皆さまに会えることを楽しみにしております。



ホームカミングデーで会いましょう！

衣笠

衣笠キャンパスで行われる企画を紹介します。
メイン会場の中央広場を中心に、楽しい企画が繰り上げられます。



国際関係学部企画

政策科学部企画

● Rガーデン

若手校友お笑い芸人のステージイベントや、福引抽選会などが行われる大交流会のほか、企業や生協、校友会などによるブース出店も展開されます。

B1F 食堂

法学部企画

文学部企画

● 白川静記念東洋文字文化研究所企画

ロビーにて白川静立命館大学名誉教授の研究に関するパネル展示を繰り上げます。

諒友館

図書館

清心館

文学部企画

● ふれあい通り

学生のサークル紹介や家族で楽しめる企画が満載の「ファミリー（キッズ）コーナー」、さらに「研究紹介コーナー」や留学生との交流企画などが繰り上げられます。

産業社会学部企画

1F
喫茶ゆんげ

B1F
レストランカラム

末川記念会館

応用人間科学研究科企画

「『人として生きる』～ハンセン病回復者の社会的援護にどう関わり、どう取り組むか～」をテーマにした講演、およびビデオ上映、パネル展示が行われます。

国際平和
ミュージアム

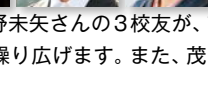
● 広小路キャンパス展

写真パネルやミニチュア模型の展示のほか、3Dでキャンパスを体験できる「バーチャル広小路」（26～27ページに関連記事）、オリジナルグッズ販売、懐かしの食堂メニュー再現など、盛りだくさんの企画を繰り上げます。



● 茂山正邦さん、山村純也さん、衿野末矢さんによるトークセッション

大蔵流狂言師の茂山正邦さんと、京都観光を総合的にプロデュースする（株）らくたびの代表取締役・山村純也さん、着物へのこだわりをみせるノンフィクションライター衿野末矢さんの3校友が、京都の文化をテーマにしたトークセッションを繰り上げます。また、茂山狂言会による公演も行われます。



● 小林綾子さんと伍芳(ウー・ファン)さんのトークショー

舞台やテレビで活躍する女優・小林綾子さんと、上海生まれの中国古箏演奏者・伍芳さんの校友お二人による楽しいトークショーです。伍芳さんの演奏と小林綾子さんのコラボなど見どころいっぱいです。



● 映像学部客員教授の山田洋次監督の講演会

本学の映像学部学生とともに制作した「京都太秦物語」（2010年5月公開予定）に関するエピソードなど、映画に懸ける山田監督の情熱が語られます。当日は「京都太秦物語」の制作に携わった学生も出演する予定です。



● 白川静記念東洋文字文化研究所企画

白川静記念東洋文字文化研究所企画の表彰式やシンポジウム、パネルディスカッションが行われます。

どうぞご家族で
お越しください！

※当日のお車でのご来場はご遠慮下さい



ホームカミングデーで会いましょう！

RITSUMEIKAN UNIVERSITY HOMECOMING DAY 2010



BKC

びわこ・くさつキャンパスで行われる企画を紹介します。
主会場のセントラルサーカスを中心に、バラエティーに富んだ企画を展開します。

スポーツ健康科学部企画

2010年4月、立命館大学は「スポーツ健康科学部」、ならびに「大学院スポーツ健康科学研究科」を同時開設します。当日は新校舎にて、その最新の設備を活用し、校友の皆さまにスポーツ健康科学を実感いただける企画を考案中です。ぜひ、会場にお立ち寄りください！



経営学部企画

エポック立命21



● 地域交流スポーツ企画

アメリカンフットボール教室など、立命館の学生とのスポーツ交流が楽しめる企画です。

クインス
スタジアム

正門



どうぞご家族で
お越しください！

経済学部企画

アドセナリオ



1F カフェテリア



喫茶・グリル
「シーキューブ」

● 最先端ロボットショー

校友のロボットクリエイター高橋智隆氏による講演やロボットのデモンストレーションが行われます(10～13ページに関連記事)。



● 特別講演

川本八郎・立命館顧問(前理事長)の特別講演が行われます。



● Rガーデン

メインステージでは、いずれも校友で歌手の大野実佐子さんや千葉山貴公さんと学生音楽系サークルとのセッションや、校友と学生ミュージシャンによるコラボライブのほか、大交流会(福引抽選会)も実施します。また、模擬店や吹奏楽部学生のバレードなども展開される予定です。



● ふれあい広場

学生のサークル紹介や家族で楽しめる企画が満載の「ファミリー(キッズ)コーナー」、さらに留学生との交流企画や研究紹介ブースなどが繰り広げられます。



※当日のお車でのご来場はご遠慮下さい

● 広小路・衣笠キャンパス展

両キャンパスの写真パネル展示や3Dでキャンパスを体験できる「バーチャル広小路」(26～27ページに関連記事)などの企画が繰り広げられます。



経済学部企画



リンクスクエア



カフェテリア

プリズムハウス

プリズムホール

セントラル
アーク

ユニオン
スクエア

メインステージ

Rガーデン
セントラルサーカス

メディア
センター

出店

ファミリー(キッズ)コーナー

● 脚本家の井上由美子さんのトークショー

数々の人気ドラマを手掛ける校友・井上由美子さんが、ご自身の経験談や、人生のターニングポイントとキャリアアップなどについてお話します。また、現役学生を交えた、キャリアに関するトークセッションも行われます。



● (株)フジマキ・ジャパン代表取締役の 藤巻健史さんの講演

「私の職業人生を振り返って社会人に求められるもの」と「日本経済の市場(株・為替・金利・不動産)の今後の動向」の2つをテーマに、カリスマディーラー藤巻健史さんの講演が行われます。



● 学生活動紹介

活発に活動する学生とのふれあいや、活動の紹介コーナーを展開します。

● 近江ゾーン

「近江歴史回廊」「思い出の学園風景・南草津と地域の発展と共に」などのテーマに関するパネル展示やミニ講義が行われます。

理工学部、情報理工学部企画の会場は現在、調整中です。



学部・研究科企画紹介

時間や会場など、詳細は4月中旬～下旬に送付予定のダイレクトメールをご覧ください。

同じ学部ならではの交流。そして懐かしの学友との再会。

企画内容が変更になる場合がございます。ご了承ください。

法学部

主催:法学部

企画内容

- 法学部ゼミ同窓会イン存心館

ホームカミングデー当日、法学部の現職教員と名誉教授のゼミごとに、ゼミ同窓会を存心館の各教室で実施します。お茶・お菓子による茶話会形式でゼミ担当教員を囲んで、様々な年代の卒業生および在学生が交流します。実施ゼミにつきましては、4月中旬～下旬発送予定のホームカミングデーのご案内にてお知らせします。

学部長からのメッセージ

2010年、節目の年に開催されるホームカミングデーにおいて、法学部の卒業生の皆さまに法学部生の学舎である存心館に集まっていたいただき、ゼミ担当教員を囲んで旧交を深め、在学生と交流していただく企画になれば幸いです。これをきっかけに、それぞれのゼミでOB・OG会（ゼミ同窓会）が立ち上がれば、と思っています。卒業生が集まって語り合うことほど、大学教員にとって嬉しいことはありません。皆さまのご参加をお待ちしています。（法学部長 二宮周平）

政策科学部

主催:政策科学部、政策科学部同窓会

企画内容

- 政策科学部同窓会交流パーティー

- 和太鼓演奏（予定）

同窓生と教職員の交流パーティー（軽食パーティー）を開催します。交流パーティーを通じて異業種間の情報交換、人脈発掘など有意義なひとときを過ごしていただける企画です。

政策科学部からのメッセージ

政策科学部の今昔を語り合い、これを契機により良い後輩が育っていくよう、学部の今後の発展にお力添え下さい。

理工学部、情報理工学部

主催:総合理工学院(理工学部・情報理工学部・生命科学部・薬学部) 協賛:理工系同窓会連絡協議会(数物会・応化会・立命電友会・機友会・建設会・情報会)

企画内容

- 研究室公開
- 研究成果パネル展示
- 学部毎の懇親会（交流パーティー）など

理工系学部では研究室公開や研究内容、研究成果をパネル等で発表し、学部・研究科の最新の教育研究活動をご紹介します。また、交流パーティーを開催し卒業生の皆さまとの交流・親睦を深めてまいります。

学部長からのメッセージ

1994年に理工学部及び理工学研究科をBKICに拡充・移転して以降、2004年度には「情報理工学部」を、さらに2008年度には「生命科学部」「薬学部」を開設した結果、現在、ライフサイエンス系分野を含む理工系学部は、4学部20学科および大学院1研究科、学生・院生の収容定員で約1万人、教職員約4百人を数える大所帯となり、西日本最大の理工系規模を有する大学へ大きく躍進することができました。これもひとえに校友の皆様のご活躍と母校への温かいご支援があつてのことと心から深く感謝申し上げます。6月6日は、研究室公開やパネル展示などを通して、科学技術の力で国際社会へ貢献しながら躍進を続ける理工系学部の姿をご紹介しますとともに、交流パーティーも開催いたしますので、是非ご家族連れでご参加いただき、楽しいひとときをお過ごしいただきますようお願い申し上げます。（総合理工学院長 坂根政男）

映像学部

主催:映像学部

企画内容

- 映像学部生の作品・研究展示（予定）

学生の授業やゼミでの成果を発表いたします！作品・研究を通じて、映像学部を知って頂ければと思っております。ご家族そろって、ぜひ会場にお越しください！

文学部

主催:文学部、文学部校友会

企画内容

- 東儀秀樹氏による講演
- 若手校友交流企画
- 文学部全校友の大懇親会

● 専攻・プログラム別企画（退職された先生の講演会・懇親会など）
文学部では様々な企画をご用意しております。雅楽の世界のみにとどまらず各界で活躍されている東儀秀樹氏による講演会をはじめ、若手校友を対象とした交流企画、専攻やプログラムに別れての懇親会や、退職された先生の講演会、そして全文学部卒業生の大懇親会など盛りだくさんです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



広小路・衣笠の清心館

学部長からのメッセージ

6月6日、衣笠キャンパスにぜひお越しください。同窓生や懐かしい先生方との出会いの場や現役大学生との交流の場として、絶好の機会かと思えます。文学部では、雅楽演奏家として名高い東儀秀樹氏の講演、専攻別企画、若手校友交流会、学部懇親会など盛りだくさんの企画を用意して皆さまをお待ちしております。そして、発展している大学や文学部の姿に触れていただければ幸いです。（文学部新学部長 桂島宣弘）



経済学部

主催:経済学部、経済学部同窓会

企画内容

- 経済学部同窓会総会 ● 講演会
- 現役学生との交流企画 ● 懇親会

2010年度は同窓会総会開催の年で、これを機に今後の同窓会活動を盛り上げていければと思います。どの年代の方々も興味をもって聴ける経済関連に関する講演会やゼミ別同窓会、さらに「現役学生と卒業生の交流」をテーマにした企画を準備中。最後の懇親会では大いに語らしましょう。

学部長からのメッセージ

2010年度より経済学部長となります。松原でございます。ホームカミングデーは、経済学部の卒業生と在学生在が交流し、ともに盛り上げていく一日にしたいと思っています。全国の卒業生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(経済学部新学部長 松原豊彦)



講演会の様子

国際関係学部

主催:国際関係学部校友会

企画内容

- 国際関係学部校友会総会
- 国際関係学部校友会特別講演会
- レセプションパーティー

2010年度は恒例の校友会総会とパーティーに加え、国際関係学部校友で立命館大学初の学生日本一になった年の原動力となった、元アメリカンフットボール選手の河口正史氏を招いた講演会を開催します。河口氏は米リーグの最高峰NFLを目指して活躍されました。フィールドは違ってもそれぞれの立場で活躍される校友にとって、河口氏のお話は刺激あふれるものになると思います。ぜひご参加下さい。

国際関係学部校友会からのメッセージ

日本からの米国NFL挑戦の先駆者として著名な河口氏が、国際関係学部の校友でおられることをご存知の方は、意外に少ないのではないのでしょうか。競技を通じての世界観や国際感覚を伺える、絶好のチャンスです。

(国際関係学部校友会事務局長 中野大典)



総会の集合写真

経営学部

主催:経営学部校友会

企画内容

- 経営学部校友会総会 ● 桂米朝一門による落語会

大阪で育ち300年間、庶民の娯楽として人々に親しまれた上方落語。演者がたったひとりで、何の扮装もなく多くの登場人物、老若男女、ナレーターまでも演じわけ、言葉ひとつで聞き手のイマジネーションから頭の中に世界を創り出し、演者と喜怒哀楽を共感する知的な芸能は日本唯一のものです。校友が家族も一緒になって楽しめる企画として、桂米朝一門から、子どもからお年寄りに親しまれている3人の演者をお招きします。

出演:桂雀松、桂歌之助、桂ちようば

産業社会学部

主催:産業社会学部、産業社会学部校友会

企画内容

- ゼミ交流会 ● テーマ別講義 ● 全体懇親会
- 「テーマ別講義」では、現代社会で問題となっている2~3のテーマについて、産業社会学部専任教員が特別講義を行います。皆さんは興味・関心のある講義を選んでご参加ください。参加者全員による立食形式の「全体懇親会」は校友同士や教員、在学生との交流を深めていただく場となります。このほか、ゼミ交流会も予定しています(実施の有無はゼミ担当教員にご相談ください)。各企画の詳細は産業社会学部校友会から後日ご案内を郵送します。

学部長からのメッセージ

“6月6日は衣笠キャンパスを感動の再会の場にしましょう”

ホームカミングデーは日頃、疎遠になっている同窓生同士の出会い、懐かしい先生との再会、ゼミ同窓生との交流が図れる場であり、発展を遂げた立命館や衣笠キャンパス、産社の現状を知る絶好の機会です。現役生との対話や楽しいお祭り企画も準備しています。どうかこの機会に衣笠においでください。学部教職員一同、皆様のご参加をお待ちしています。

(産業社会学部長 佐藤春吉)



以学館

6月6日(日) ホームカミングデー 「懐かしい仲間と再会しよう」

～校友の皆様には小教室を開放いたします～

各学部・研究科の企画に加えて、ゼミやサークルなど各団体および校友の皆様同士でホームカミングデー当日にお集まりになりませんか? ご希望の皆様には一部の小教室を開放いたします。事前申込制となっておりますので、下記までお問い合わせ下さい。

★申込締切:2010年5月11日(火)

◆ゼミや学部・研究科同窓生で開催を希望の方は…

ご卒業・修了の学部・研究科事務室まで
(24ページをご覧ください)

◆クラブやサークルなどの同窓生で開催を希望の方は…

ホームカミングデー事務局(社会連携課内)
同窓会受付担当まで
TEL:075-813-8110
E-mail:hcd@st.ritsume.ac.jp

※教室数の都合上、全てのご希望にはお応えできないこともございます。予めご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

「家庭にロボット」が当たり前の 社会づくりに貢献したい。

株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長

高橋 智隆 さん（'98産社）

ロボットクリエイター

ロボットの天才

マンガ「鉄腕アトム」のような小型で愛らしい2足歩行型ロボットを製作する。最近ではメディアに登場する機会も多く、ご覧になられたことがある方も多いのではないだろうか。2004年には『ポピュラーサイエンス』誌の「未来を変える33人」に選ばれ、米『TIME』誌の「クールな発明」でも紹介されるなど、世界を舞台に活躍。製作に必要な工程はすべてひとりで行うという独特の技法は、同業の開発者から「天才」とも評されている。

高橋 2足歩行型の人型ロボット（ヒューマノイド）の製作をメインに、それを基にした商品化や特許技術のライセンスが私の仕事です。将来、家庭の中にロボットがいることが当たり前の時代が来ると信じ、ロボット開発に明け暮れています。工房で、ロボットの構想から技術開発、デザイン、設計、部品作成、組み立て、プログラミングまでのすべての作業を、基本的にひとりで行っています。デザインに対しては格好良さとかかわいさのバランスに気を遣っています。

これまで6体のオリジナルロボットを手掛けましたが、すべて当時の私にとっての最高傑作です。常に新しい技術やコンセプトに対する挑戦でもあるので、狙い通り動かない不安を抱えながらの作業ですが、試行錯誤の結果、幸いいつも自分で満足できるクオリティーに達していると思います。

私がロボットに夢を抱いたのは幼少の頃。鉄腕アトムなどの

影響で「ロボット博士になりたい」と、漠然とした夢を描いていました。少年時代はラジコンやバス釣りが流行し、友人たちとともに熱中していました。当時から手先が器用で、ラジコンの改造やルアーの自作にのめり込むなど、凝り性でこだわりが強いところはずっと変わっていないですね。

昔から車も好きで、古い車をベースにモダンにカスタム（改造）するアメリカの自動車工房を訪ね衝撃を受けました。コツコツと手作りし、完璧な仕上がりを見せる姿は、まさに今の私がめざしているものです。工芸の緻密な技と工学の技術、斬新な芸術性を兼ね備え、開発過程の「執念」が見るからに伝わるようなモノを好み、そういった車や時計などの製品を所有していることに喜びを感じています。私にとって、その延長線上にあるのがロボットの存在かもしれません。

“挫折”から辿り着いた夢

在学中、人生設計について真剣に考えはじめた時、「モノ作りがしたい」というはっきりとした目標が見えた。就職活動では、釣り具メーカーに絞って受験し、文系出身であるものの開発部門を志望。自作したリールを手し、面接でアピールした。しかし、第1志望の会社に落ちたことを機に、本気で機械工学を学ぼうと決意。当時の吉川恒夫京都大学教授（現立命館大学理工学部教授）の「メカトロニクス研究室」に照準を合わせ、立命館大学を卒業した翌年に京都大学工学部物理工学科に進学。就職活動で味わった“挫折”が、幼少時の夢へと引き戻した。

高橋 立命館大学進学時に産業社会学部を選んだ理由の一つに、バブル経済当時の社会背景があります。あの頃モノ作りへの関心はありましたが、理系学部卒業生が金融機関などへの文系就職を選ぶ実情を知り、ならば文系学部へ進学して就職し、モノ作りは趣味として続けていこうと考えていました。しかし、就職活動の頃にはバブルがはじけ、となるとやはり、モノ作りを仕事にしたいと思うようになりました。

振り返ると、私のロボット作りには、分野をまたいだことが大きく功を奏しているように感じています。欧米では文系と理系の両方を大学で学ぶことは、特段珍しいことではありません。私自身、新たな「知」を得るために将来、3度目の大学進学に挑戦するかもしれません。こうしたクロスオーバーした学びから磨かれるものは大きく、このような経験をした研究者は今後、各分野において必要になってくると考えます。

立命館大学の4年間、理系学生とは違った角度から「モノ」を見ていたことで、モノ作りに関する独自の感性が磨かれたと思っています。また、立命館大学には他大学とは違ってユニークな教員や学生がたくさんいることも大きく影響していると考えます。高校から大学までの立命館での生活と、京都大学での学びが融合して、今の私があると思うのです。

電磁吸着 2 足歩行を開発

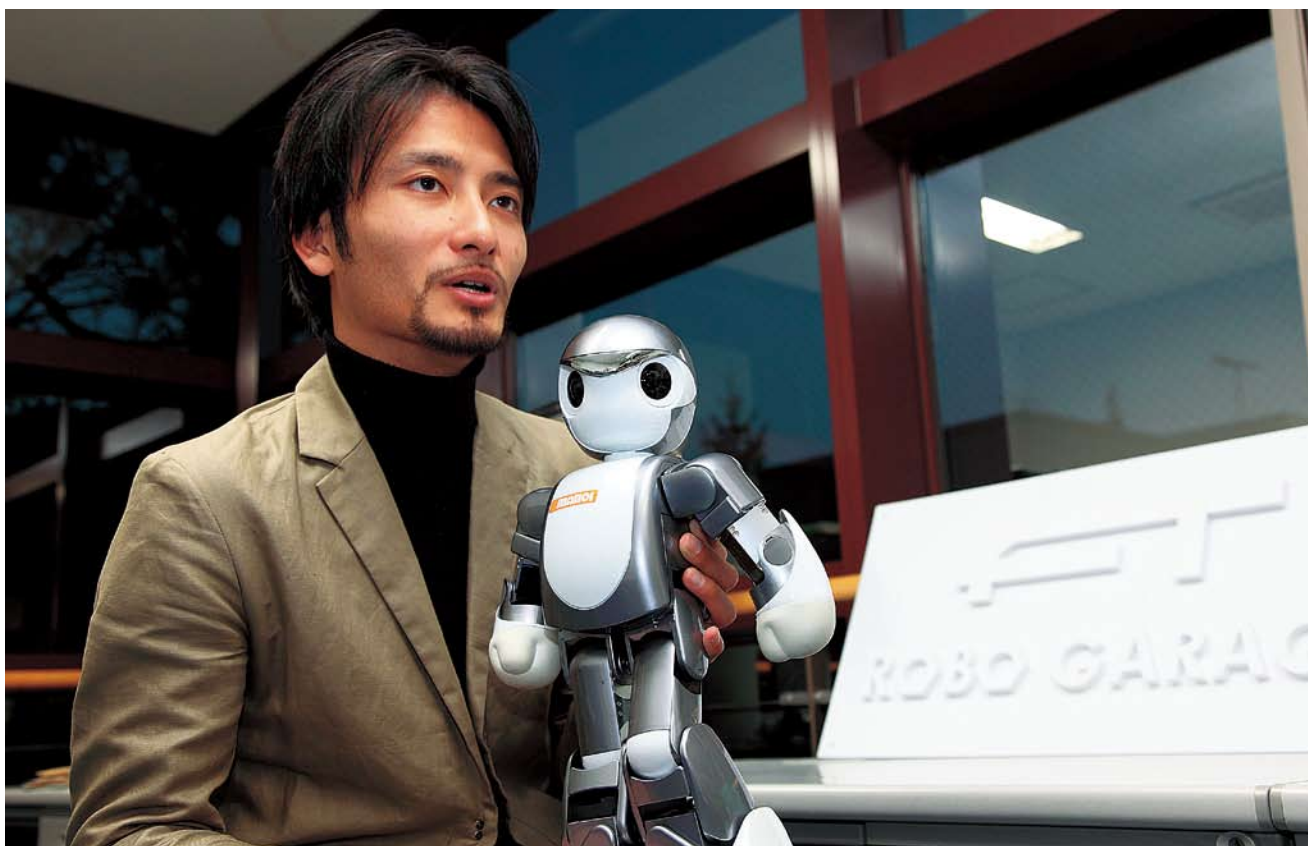
京都大学在学中、当時は非常に困難だった「ロボットを2足歩行させる仕組み」を開発。その仕組みはプラモデルのロボットの足裏につけた電磁石を交互にON/OFFして、鉄板の上を歩かせるという構造で、低コストで安定した2足歩行が可能な「電磁吸着2足歩行」という特許技術となった。その後、この技術が搭載されたロボットが玩具メーカーによって商品化される。このように、ロボットの歩行に成功したことや、自身のアイデアが商品になることに対する感動が、高橋さんをロボットクリエイターへと導いていく。

高橋 京都大学在学中に3体のオリジナルロボットを製作しました。1体目は「ガンダム」のプラモデルを改造して作った2



足歩行ロボット。2体目はオリジナルのデザインで、無線操縦でよりスムーズに旋回歩行が出来る。3体目は「卒業製作」の作品「ネオン」。私が所属していた研究室では主に制御理論の研究が中心だったので、かなり型破りな学生だったと思います。そうして完成したネオンは、鉄腕アトムをモチーフにしたデザインで、2台のコントローラーで操縦するロボットです。マンガの世界と現実世界のギャップを埋めたいと考え、決して“メカメカしい”金属むき出しのデザインではなく、内部のメカがいっさい見えないよう工夫しました。さらに、人間の背骨のように胸を張り、背中をそらした姿勢にし、顔は3次元的な複雑さを持たせ、さらに目も瞳や瞳孔を作るなど、生きている感じが宿るよう意識しました。

当時から今も変わらないのですが、私のロボット製作には設計図が存在しません。そもそも私はコンピューターで図面を引くことが苦手なのですが、製作に関するすべての作業をひとりで行うため、設計図は必要ないのです。その代わりに行う



フリーハンドのスケッチや、木を削って造形するなどの作業が、大胆な構造や自由な曲線を生み出し、理想のフォルムを実現させていると思います。

人と同じように歩くロボット 「クロイノ」誕生

卒業と同時に株式会社ロボ・ガレージを設立。現在は京都大学の起業インキュベーション（起業家支援のための施設）内に事務所を設けている。2004年に完成した「クロイノ」に取り入れた2足歩行の仕組みは新たな特許技術で、米『TIME』誌の「2004年のクールな発明」でも紹介された。

高橋 クロイノは私にとって始めてとなる普通の床を2足歩行できるロボットです。当時、既に2足歩行が出来るロボットは存在していましたが、中腰で、ひざが曲がったままの不自然な歩行姿勢のものばかりでした。これを何とかしたいと思いました。

そして、従来のロボットと同じ関節の数でありながら、歩

行中の軸足の膝を伸ばして歩ける技術「SHIN-Walk（シン・ウォーク）」を完成させました。その実証機としてクロイノを作って発表したのです。設計図を描かずに実際の部品をいじりながら考えたことで、SHIN-Walkの仕組みを考案できたのだと感じています。

「一家に1台」を夢見て

2009年10月、新作「ロビッド」を発表した。製作期間はこれまで最長の2年半。素材や部品の技術発達とともに、高橋さんが作るロボットの製作期間も年々増えている。人の掛け声に合わせて8cmのジャンプが可能なロビッドだが、これは人に近い多関節のロボットとしては世界一の跳躍力という。このように世界で活躍する高橋さんは「車のようにロボットが“一家に1台”という社会の実現に寄与したい」と大きな夢を抱いており、イベントなどで子どもたちをはじめ、幅広い世代の人にロボットの楽しさを伝えている。

高橋 私の毎日は細かい試行錯誤の繰り返しです。製作中はずっと、ロボットのことを考えていますね。そんな日々ですが苦痛に思うことはなく、むしろ楽しいです。強いて困難なところを挙げるなら、壁と感じるのは「時間(＝期間)」でしょうか。技術革新によって新しいモーターやバッテリーができて設計を変えなければならないこともあり、さらに製作する中で、当初思い描いていたものから趣向が変わることもあります。本来ならアイデアが新鮮なうちに短期間で作り上げたいのですが、ひとりでは作業の進捗に限界があることに加え、作るものも毎回複雑になってくるため、なかなかそうはいきません。

もともと根っからの凝り性で、何に対してもこだわりが強い性格です。常に自分の道を走りながら、クリエイティブで有り続けたい。気分転換には、もう20年も続けている日本拳法やモーグルなどで体を動かしていますが、その時もついロボットの動きへの応用を考えてしまいます。

私は立命館高校と立命館大学で学びましたが、その自由な校風の中で生活したからこそ、今の自分があると実感しています。おもしろい友人も多く、中でも漫才コンビ「サバンナ」の八木真澄君は高校、大学の同級生で、テレビ局で偶然ばったり、なんてことも時々あります。

また、母校からの講演依頼や、在学中に授業を受けていた先生と会う機会があるなど、「卒業生」というだけで好意的に声を掛けていただくこともあり、立命館との関係は切っても切り離せないものだと思つづく感じています。この人脈は掛け替えのない財産です。

現在の立命館はすべてが上手く回っている印象があります。中でも、ブランディングや広報戦略が成功したことで、教育や研究の質が向上し、企業からの評価も高いですね。この勢いに乗って、世界有数の私立大学へと成長していくよう、期待しています。



6月6日(日)のホームカミングデーでは高橋さんの講演も予定しております。
(7ページに関連記事)

Tomotaka Takahashi



1975年 大阪に生まれる
1993年 立命館大学産業社会学部 入学
1998年 同 卒業
1999年 京都大学工学部 入学
2003年 同 卒業
株式会社ロボ・ガレージ創業
現在に至る

■ 現在

株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授
大阪電気通信大学メディアコンピュータシステム学科客員教授
福山大学工学部電子ロボット科客員教授
ヒューマンキッズサイエンスロボット教室アドバイザー
ロボット専門店ロボベース顧問

■ 受賞歴

関西テクノアイデアコンテスト 2001 ～ 2002 グランプリ
キャンパスベンチャーグランプリ OSAKA グランプリ
NBK 学生ベンチャー大賞
大阪活カグランプリ受賞
関西元気文化圏賞ニューパワー賞
リプトンひらめき IST AWARD 2008 受賞
ロボカップ 2004 ～ 08 世界大会優勝 (5 連覇)
米TIME誌「Coolest Inventions 2004」
ポピュラーサイエンス誌「未来を変える 33 人」

徳島県

徳島県校友会会長

宮崎 房子 さん（'59 経済）
2005年7月就任

立命館大学経済学部に進学されたきっかけは？

宮崎 ● 高校3年生の頃、母から「これからは女性も大学で学ぶ時代」と、大学進学を勧められました。あの頃、女性の4年制大学進学は珍しく、私の進学を巡って親族会議にまで発展したほどです。父も反対派でしたが、母が説得してくれました。大学に行くなら大好きな京都で学びたいという思いが強く、そんな中、ラジオで聴いた末川博総長（当時）のお言葉に感動しました。正直なところ、立命館についてあまり知らなかったのですが、このような素晴らしい先生がいる立命館大学に惹かれました。

父が商売を営んでいたこともあって、貿易関係の仕事に興味があり、経済学部を選びました。経済学部は男子学生ばかりで、女子は



宮崎会長



ARRのメンバー（前列中央が宮崎会長）

私を含めて2人。学生生活に馴染むのに時間がかかりましたが法、文、経の3学部の女子学生10人で団結し、自分たちで過ごしやすい環境をつくったこともいい思い出です。在学中はESS（英語研究会）やRBC（立命館大学放送局）で活動し、先輩方にもかわいがってもらうなど、とても楽しい学生時代でした。

立命館で学んだことは人生の様々な場面で生きています。卒業後に民間企業に就職しましたが結婚、出産の後に退職し、20代後半に教師になりました。元々、教師志望ではなかったのですが、在学中は「立命館魂」に火がつき、とにかく色々な科目を学ぼうと、正課以外に教職科目も受講していました。未来を信じて学んだことが後に生き、まさか教師になるとは、あの頃の私は思っていなかったのです。

徳島県校友会の特徴を教えてください。

宮崎 ● 徳島といえば「阿波踊り」を連想する人も多いと思います。この地域性から、徳島県校友会総会でも阿波踊りが繰り上げられます。会場で「よしこの節」の旋律が流れると、参加者が一体になって踊るのです。これがとても楽しい。また、総会では少しでも勉強の場になるよう、講演会も必ず開催しています。

夏には立命館の連（踊り手の集団）と一緒に踊ることもあります。そして、女性校友の集まり「ARR（旧阿波Rits Roseサークル、会員約26名）」やゴルフクラブも活発で、加えて2年前に発足した青年部が2009年の総会運営を取り仕切るなど、新しいかたちも築き始めています。

私は先輩方から何度もお誘いを受け、約25年前から校友会に参加していますが、このお誘いに感謝しています。交遊の幅が広がり



総会で繰り上げられる阿波踊り

ました。そして年代や趣味が異なっても同じ母校というだけでまとまれるのが校友会の魅力。大きな意義のある組織だと思います。

全国で唯一の女性会長としてご活躍の宮崎会長。抱負をお願いします。

宮崎 ● 現状、総会の参加者は80人前後ですが、常時100人は集まる場にしたい。徳島では校友が多く在籍する企業や団体が多いにもかかわらず、職域の参加者が伸び悩んでいるのが現状です。そのため、職域の参加者を増やす仕組みを強化したいと考えています。そして、参加者が楽しめる環境を整備していきたい。とにかく人が集まらないと始まらないですから。校友会とは「語らいの場」だと思うのです。県内全域の人に出会い、様々な話をして、親戚、兄弟、あるいは同志のような関係が築かれます。この縦のつながりによる語らいは、他の会では味わえないものです。そして、比較的少ない女性の参加者が増えるよう、働きかけ、パワーみなぎる男性の方たちと校友会を盛り上げていきたいです。

母校は京都から、関西、そして日本の立命館へと成長しています。母校の活躍を耳にすると、同志である校友の方々に会いたくなります。徳島県校友会の皆さまは、立命館精神が強い人ばかり。「赤き血潮…」と流れれば学生時代に戻れるのです。その度に校友会が大好きであることを再認識しています。他の参加者にも、そう思ってもらえる場にしたいですね。

徳島県校友会

設立: 1960年

会員数: 350名（2010年3月現在）

*徳島県在住で、総会案内発送を希望されている方

総会時期: 例年7月

総会参加者数: 約80名



兵庫県

兵庫県校友会会長

辻 寛 さん（'62法）
2009年11月就任



兵庫県校友会の役員の皆さま



活発な交流が繰り返されている「J-club」

どのような学生時代を過ごされましたか。

辻 ● 高校卒業後に奈良県庁に入職し、学費を貯めて3年後に法学部二部に進学、働きながら学びました。片道2時間半の通学は、職場から3つの電車を乗り継ぎます。日々忙しく、仕事後に駆け込んで大学へ、そして帰りは電車で熟睡でした。ある日、電車に乗った瞬間に深い眠りにつき、発車のベルを到着駅のものとは勘違いし、ハッと飛び降りたら、まだ京都駅、なんてこともありました（笑）。毎日終電で、自宅近くの銭湯に寄ってから帰宅です。そのため、石鹸とタオルは必携でしたよ。寝るのは深夜1時過ぎ。とにかく疲れていました。

末川博先生がいる立命館は私の夢でした。多忙を極めながらも「末川立命館」に学んだことは、私の人生の支えです。「この先も役人として生きたい」という気持ちを後押ししてくれたのもここでの生活があったからこそ。残業などで休むこともあり、まじめな学生だったとは言い難いのですが、ここで4年間を過ごしたことは今でも誇りに思っています。

校友会活動に参加したきっかけと、
校友会の魅力について教えてください。

辻 ● 大学卒業後、兵庫県庁に入職。3年間の地方勤務を経て本庁に異動したのを機に、校友会に参加し始めました。県庁の先輩の一言、定之丞元兵庫県校友会会長からのお誘いをきっかけに、県校友会や「兵庫県庁清和会」に参加するようになりました。中でも、一谷元会長の人生哲学が印象的で、いつも楽しみにしていました。

校友会は異業種の人たちと出会えるのが魅

力で、言わば「総合大学」のような集まりではないでしょうか。私のような役人や金融、メーカーなど、各分野で活躍する人が一堂に会し、様々な情報を共有することができます。この情報の共有にこそ、校友会の意味があると考えます。それぞれが見聞を広められるような場であることが望ましいと思います。

就任から5ヶ月。兵庫県校友会の
これからの抱負をお願いします。

辻 ● 私のモットーは「努力と誠」です。在職中に1年間、旧自治省（現総務省）に出向したことがあります。兵庫県の看板を傷つけるわけにはいきませんので「絶対に泣き言を言わない」という強い気持ちがありました。この期間は法律などについて寝ずに勉強したことを覚えています。知識のない自分が周囲と同じ仕事をやろうと思えば勉強するのみ。そして、関わる人たちと誠実に付き合うためにも努力しなかったのです。

組織は「土を耕す」「種をまく」「花を愛（め）でる」といった過程を経て成長します。将来の発展に向けて、私は欠けている部分の土を耕す会長になりたい。そして、母校の産学連携に貢献され、「東はりま校友会」の設立にご尽力された大庫典雄前会長から受け継いだ看板を守り、さらに魅力的な組織へと発展させたいです。

兵庫県校友会では若手校友との関わりに力を入れ始めました。昨年、異業種交流を目的に発足した「J-club」は、既に活発に活動しています。また、役員会については、これまで平日に実施していたのを土日曜に変更したい。現役で働く世代の大半は平日夕方の会議に出席することが困難だと思うのです。そうしたことも



辻会長

考慮した仕組みづくりが私の役目です。

そして若者だけでなく、年配者への配慮も忘れてはいけません。去る1月の「全国都道府県校友会『会長会議』『事務局長・幹事長会議』」では、校友会運営の参考となる様々なお話を伺う中、目が行き届いていなかった点が浮き彫りになりました。そうした反省点を改善しながら会員の皆さまと力を合わせ、美しい花が咲く校友会へと成長させたいです。

兵庫県校友会

設立:1920年
会員数:約18,000名(2010年3月現在)
*県内在住の校友
総会時期:例年10～11月頃
総会参加者数:約200名



立命館 思い出の場所はいま…

皆さまが通っていた思い出のキャンパス、あるいはその周辺は現在、どうなっているのでしょうか。寄せられた情報をもとに現地を訪れました。懐かしの場所のいまの姿をご覧ください。



広小路

①

広小路学舎跡地周辺

1981年に衣笠キャンパスに全学部が移転するまでの80年間、学生が学んだ広小路学舎の跡地は、いま、どのようになっているのでしょうか。

学舎跡地には京都府立医科大学の校舎が建設されました。そして、少し北側の河原町通沿いにあった細長い建物の学生会館跡には「バイオカレッジ京都」の校舎が建ちました。当時の建物の中で、広小路学舎から北へ約300m上り、鴨川沿いにあった体育館は府立医大の体育館として今も残るほか、正門から河原町通を南へ70mの道路向かいにあった旧経営学部棟の恒心館も宗教法人の建物として現存しています。時折、見学に訪れる校友もいるそうです。

広小路世代の方々、京都御苑にも思い出があるのではないのでしょうか。清和院御門付近の広場で演奏の練習をした音楽系のクラブの人、あるいは石薬師御門付近で練習したスポーツ系クラブの人、そして恋人とデートを楽しんだ人もいたことでしょう。さらに、皆さまが何度も足を運んだ鴨川畔は、今でも多くの市民が散歩を楽しむなど、のどかな光景が広がっています。鴨川の東側は幾つかビルが

建ち並びましたが、今でも大文字山がくっきりと見える絶好のビュースポットです。荒神橋から賀茂大橋までの川沿い約1kmをのんびり歩き、当時を思い出すのも悪くないのでは。

◆高島源之助氏（'60年 経済）のご要望をもとに取材



鴨川畔から見た大文字山



京都御苑・清和院御門付近



広小路学舎跡地の周辺。上は当時、下は現在

BKC

南草津駅の西側

びわこ・さつキャンパス（BKC）開設の半年後に開業したJR南草津駅。開業当初は、周辺に休耕田が広がっていました。駅の東西それぞれに1カ所ずつ出口があり、BKCに向かうバスが出入りする東側は、早い段階で整備が進みましたが、西側出口周辺は遺跡調査の関係で開発が遅れました。整備が完了したのは2007年。今ではすっかり美くなりました。広いバスロータリーや公園、そしてコンビニなどが並び、さらに周辺には高層マンションが何棟も建っています。

◆八阪義浩氏（'03年 経済）のご要望をもとに取材



南草津駅の西側出口周辺

募集

掲載ご希望の情報がございましたら、校友会事務局「立命館 思い出の場所はいま…」係までお寄せください。下記の①～③をご記入（ご入力）のうえファクス、またはメールにてご応募ください（メールの方は、表題を「立命館 思い出の場所はいま…」としてください）。

①誌面掲載を希望する場所 ②その場所に関するエピソード

③卒業年、卒業学部、通っていたキャンパス、お名前、電話番号、お持ちであればメールアドレス

掲載の採否は校友会広報委員会にて決定いたします。採用が決まりました方には、追ってこちらからご連絡させていただきます。

*掲載希望の写真がある方はお電話にてご連絡をお願いします。

TEL:075-813-8216 FAX:075-813-8217 E-mail: alumni@st.ritsume.ac.jp

喫茶シャポー

旧広小路学舎近くの荒神口交差点。少し東に行くと、激動の昭和史の一頁に残る荒神橋があります。交差点の北東角を東に歩を進めると、北側には今も変わらぬ名前で「喫茶シャポー」が。46年間、店を守り続けるマスターの阪本宗男さん、京子さんご夫婦が、広小路世代の校友を温かく迎えてくれます。「1981年の広小路キャンパス最後の時、立命館大学の方々から周辺の数々のお店に対し、永年の感謝と惜別の意を表した挨拶がありました。以降、残っているのは当店だけとなりました。当時は産業社会学部やクラブ活動の学生、そして府立医大生が主なお客さんでした。『ザ・フォーク・クルセダーズ』（60年代後半に活躍したフォークグループ）のメンバー北山修氏もよく来訪していただきました」とマスターは、当時の思い出を語りました。

シャポーは一度改装し、今はレンガ壁のビルの1階に店を構えています。店の向かいには、近畿財務局の跡地に建った京都地方法務局があり、法務局を訪れた校友がシャポーに立ち寄ることもあるそうです。20年ほど前に消えてしまった喫茶「シアンクレール」はシャポーの西隣にありました。京都のジャズファンの聖地であり、故高野悦子氏の手記『二十歳の原点』に登場するシアンクレールと勘違いしてシャポーに来店する人は今もいるそうです。加えて、現役時代から縁のある軽音楽部、野球部、メンネルコールのOBも来訪。とりわけ軽音楽部の古いOBの間では、マスターは、在阪のジャズバンド「アロージャズオーケストラ」のトランペッターだったことが、いつも伝説の話題になっています。

さらに、校友でフォーク歌手の杉田二郎氏（'74年文）が今でも訪れるといい「マスコミ研究会OB会が杉田氏を主人公に制作した1997年のVTR『鴨の流れに』には、昔の「喫茶シャポー」が映っています」とマスター。「最近では当店の校友会報『りつめい』を、バックナンバーを含め、種々置いております。お近くにお越しの折はぜひ、お立ち寄り下さい」と笑顔で話していました。あの頃は、広小路学舎、および（決して美しい建物ではない）学生会館と、荒神口の雀荘や喫茶店を往復した校友も多々いらしかったことでしょう。荒神口界隈に立ち止まってみると、寂寥（せきぱく）の感を禁じ得ないが、衣笠キャンパスやBKCで学生が生き生きと学ぶ母校の姿を概観することが出来ます。校友の皆さま、母校の発展を心の糧にしようではありませんか。

◆仲治實氏（'69年 経営）によるご投稿記事



13年前の阪本マスターご夫婦
（シャポー店内にて）



現在のシャポーと阪本マスターご夫婦

「未来を信じ 未来に生きる」の石碑

衣笠キャンパスの正門から南へ進むと東側に末川記念会館の建物があり、その向かいには、末川博名誉総長が残された「未来を信じ 未来に生きる」の石碑があります。学園創立80周年と広小路学舎からの衣笠移転完了を記念して建立されました。この碑文は末川名誉総長の自筆をあしらったもので、末川名誉総長がこれからの民主主義への思いを込めて若者に宛てた11文字のメッセージ。現在も変わらず受け継がれています。

この石碑の背中側にはかつてグラウンドがありました。現在は中央広場になり、創思館や充光館も建ちました。存心館の時計台は今も変わらず、キャンパスを見守っています。

◆岡本幸子氏（'01年 文）のご要望をもとに取材



かつては存心館（左）と学生会館（右）の前にグラウンドがありました



存心館（中）前にあったグラウンドは中央広場になり、創思館（右）と充光館（左）も建ちました



正門からのプロムナード沿いに建っている
「未来を信じ 未来に生きる」の石碑

校友会報からひもとく 校友会の歩み

2019年に校友会は“100歳”になります

校友会報「立命」第13号 1955年11月発行（※第11号～第20号の中から選んだ1冊です）

学生の就職活動を校友会がサポート

今回は第13号を振り返ります。この号が発行された当時は、不況から好況へ転じ始めた時期です。それでも学生の就職状況は芳しくなく、こうした事態を受けて「就職特集号」として、学生の就職活動につながる様々な企画を展開しました。当時、校友会では学生の就職活動のバックアップを目的にした「就職幹旋委員会」（1953年発足）という組織が活動。この委員会は主に校友と学生の接点の役割を担っていました。座談会はその活動の一環であることに加え、就職状況について校友に広く知ってもらおうという狙いもあったようです。この号の発行から55年が経った2010年は、ご存知の通り、2年前からの不況に伴う就職難が続いています。55年前とは要因や時代背景が違とはいえ、同じ「就職難」という共通点がみられます。

この号の目玉は計23ページに亘って展開した「就職座談会」です。学園から就職担当職員4名、校友会から当時の小田



就職座談会の様子

美奇穂会長をはじめとした7名、現役学生9名の計20名が出席しました。座談会では当時の就職市場や学生の傾向、今後の見通し、立命館への求人状況などについて、学園からの説明や校友からのアドバイスのほか、学生の就職に関する要望もありました。座談会には人事を担当している校友も出席しており、人事担当から見た就職試験攻略に関する助言もありました。

学生からの要望では求人数の増加を求める声や、女子学生の厳しい就職活動に関する相談などが挙がり、当時の深刻な状況がうかがえます。また、出席者の中には、志望とは違う業界に就職した校友の姿もあり、この校友は「就職した以上、その環境で大成する気力が大切です」と学生を応援しています。

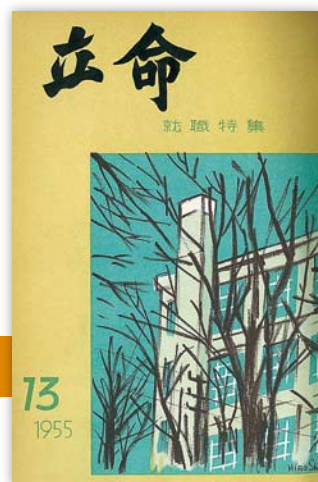
この座談会のほか、校友や教員からは「日本経済の当面する諸問題」「就職問題より見たる先輩・後輩のつながり」「わりきれぬ就職難の矛盾について」といった題の寄稿があり、さらに前年度に卒業した校友による後輩激励の感想文も掲載されています。

近年、就職難といわれていますが、立命館大学キャリアセンターは、学生一人ひとりの希望する進路の実現に向け、積極的に支援しています。平井英嗣同センター部長は「全国30万人の校友の皆様のお力を拝借することで、有為な人材を社会に輩出して参りたいと考えております」と話しています。

※校友へのご求人につきましては、校友会ホームページトップ画面右側バナーの「学生へのご求人について」をご覧ください。

第13号の編集後記

校友会機関誌「立命」も本号を以て、第13号を発行することになりました。本年より年3回発行を計画し、校友の諸兄に大変喜んで戴き、編集委員の諸氏も大いに力強く感じている次第です。本号は時節柄、来春卒業予定の学生諸君のため「就職特集」と銘打って編集し、中でも「就職座談会」の記事を特に収録し、校友諸兄の就職援助にいっそうのご後援を願う次第です。何卒後輩のご指導を期待いたします。



校友会ネットワーク *Alumni Association Network*

2009年12月中旬(一部11月中旬)～2010年2月下旬に行われた各団体の行事です(判明分)

詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

都道府県校友会

- ◆ 1/29 山口県校友会総会
(35名・ラフランチエスカ)



山口県校友会総会

- ◆ 1/30 北海道校友会第55回記念総会
(100名・ホテルライフオーツ札幌)



北海道校友会第55回記念総会

地域校友会

- ◆ 1/17 浜松会新年会
(48名・ホテルコンコルド浜松)



浜松会新年会

- ◆ 1/30 シカゴ会新年会
(6名・だるま)



シカゴ会新年会

- ◆ 1/31 愛媛県校友会松山支部総会
(41名・いよてつ会館3階)



愛媛県校友会松山支部総会

- ◆ 2/6 姫路立命会総会
(90名・まねき食品本社3階)



姫路立命会総会

- ◆ 2/11 立命館湘南クラブ新年会
(21名・ホテル好養)



立命館湘南クラブ新年会

職域校友会

- ◆ 12/16 石川県庁立命会総会
(34名・ホテル金沢)



石川県庁立命会総会

- ◆ 12/19 技術士会設立総会
(30名・(社)中央電気倶楽部317号室)



技術士会設立総会

- ◆ 1/28 Rits不動産ネットワーク例会
(64名・京都タワーホテル)



Rits不動産ネットワーク例会

- ◆ 1/30 北朋会(北海道教育関係者の会)総会
(40名・ホテルライフオーツ札幌)



北朋会(北海道教育関係者の会)総会

- ◆ 2/16 姫路市役所衣笠会総会
(40名・ホテル日航姫路)

学部・学科校友会

- ◆ 1/15 建設会三重県支部総会
(40名・神湯館)



建立会(大阪建設会)総会

- ◆ 1/16 建立会(大阪建設会)総会
(150名・ヴィアール大阪)

サークルOB・OG会

- ◆ 12/5 男子ソフトボール部OB会総会
(32名・京都ガーデンホテル内「彩宴」)



男子ソフトボール部OB会総会

- ◆ 2/12 ESSフェアウェルパーティー
(40名・全日空ホテル)

- ◆ 2/21 写真研究会OB会総会
(31名・京新山)

その他の会

- ◆ 11/20 法学部2Lクラス有志同窓会
(10名・鳥せい)



法学部2Lクラス有志同窓会

- ◆ 12/23 つくば女子駅伝応援企画
(茨城県校友会主催、85名・つくば市内)



つくば女子駅伝応援企画

- ◆ 1/24 選抜女子駅伝北九州大会応援企画
(北九州校友会主催、30名・北九州市内)



選抜女子駅伝北九州大会応援企画

オール立命館校友大会 2010

10月30日(土) グランド・ハイアット・福岡、キャナルシティ博多にて開催します!



■ 2009年の校友大会の様子

「オール立命館校友大会 2010」は、校友大会史上はじめて九州・福岡にて開催されます。

今回の大会は、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各県地区校友会が本部とともに実行委員会を組織し企画・運営を行います。2009年の名古屋に引き続いての地方開催となる今回の大会では、ゆったりと懇親を楽しんでいただけるよう、全体を三部構成としたうえでレセプション(懇親会)の時間を従来より長めに設定するほか、今次大会開催記念企画、九州・沖縄ならではの地域特色に富んだ企画の実施など、全国から集う校友はもちろんのこと、校友と学生が一体となって楽しめる多彩な催しを企画中です。ご家族と一緒にご来場も熱烈歓迎します。今回の校友大会に関する情報は次号 241 号、および 242 号、さらに立命館大学校友会ホームページ特設サイト(夏頃開設予定)にてお知らせします。お楽しみに!

立命館大学全国都道府県校友会会長会議、事務局長・幹事長会議を開催

1月16日(土)午後1時から、グランドプリンスホテル京都において「全国都道府県校友会『会長会議』『事務局長・幹事長会議』」を開催した。当日は粉雪舞う厳しい寒さとなる中、全国都道府県校友会の会長、および事務局担当者158名と西村義行立命館大学校友会副会長、常任幹事21名、校友会専門委員会事業委員の5名が一堂に会した。

第1部の全体会は、西村副会長による開催挨拶からスタート。その後、川口清史総長が学園状況や今後の方針についてお話された。続いて、校友会活動の事例発表会に移り、林幸雄愛知県校友会会長が「全国校友大会を地元開催して」、山本良夫千葉県同会長が「1年を通じた多彩な活動」、石橋正吉島根県同副会長が「出雲駅伝の応援」と、それぞれ題して発表。その後、大学からホームカミングデー(6月6日開催予定)の案内があり、プログラム全体の流れや企画内容についての告知がなされた。さらに校友会事務局から「2010年度に向けた校友会本部運営方針」として、個人情報保護に関する事務局の考え方や、インセンティブ制度「校友会活性化奨励金(仮称)」の試行実施、現役学生の応援企画への支援やグッズ配布・貸与などについて説明があった。

第2部は参加者が「会長会議」と「事務局長・幹事長会議」、「事業委員会による若手企画」の3つの会議に分かれ、会長会議では「母校の発展を支えた校友会90年の歩み」というテーマで、立命館百年史編纂室の吉田彦彦氏のご講演。「事務局長・幹事長会議」では「校友会設立100周年までの10年間にすべきこと～都道府県校

友会と大学との真のかかわりを目指して～」をテーマに、都道府県各事務局担当者による活発な意見交換がなされた。「事業委員会による若手企画」では「10年後の校友会への提言」と題し、6グループに分かれて熱い議論が展開された。

第3部の懇親会では、西村副会長の開会挨拶と、森島朋三立命館常務理事による乾杯ご発声で始まった。参加者がくじ引きで決まったテーブルに着席すると、これまで面識のなかった人同士が新たに出会った校友と会話を繰り広げるなど終始、盛り上がりを見せていた。また、ゲストとして女子陸上競技部の井元章夫監督と選手5名が登場すると会場から拍手や声援が送られていた。終盤には「オール立命館校友大会 2010」に向けて、清家邦敏福岡県校友会会長をはじめ、各県の実行委員の方々が登壇し、大会の成功を誓ったほか、最後は参加者一同が肩を組み「グレーター立命」を合唱した。



■ 第1部の全体会の様子

校友の桂小春団治さんニューヨーク寄席

校友で上方落語家の桂小春団治さんが2月19日（金）に、ニューヨークの国連本部で落語家としては史上初となる落語公演を行った。各国の国連大使や国連職員ら約200人が集まった会場で「お玉牛」や「皿屋敷」などの演目を披露。小春団治さんはNPO法人「国際落語振興会」の理事長も務めており、上方落語の海外公演を始めてから10年目の節目の年に「落語を世界に広めるためにふさわしい場所」として同会場を選んだ。



■ 国連本部ビル前で撮影する小春団治さん

公演は小春団治さんのしゃべりに合わせて、英、フランス、中国、スペインの4カ国語の字幕を表示する趣向で行われた。また、翌20日（土）には音楽の殿堂「カーネギーホール」でも寄席を上演するなど、マンハッタンから日本文化を発信し、国際交流に貢献していた。



■ 4カ国語の字幕を表示する趣向で行われたニューヨーク寄席

立命館大学卒業50周年記念祝賀会を開催

2月19日（金）午後1時30分から京都ホテルオークラにて「立命館大学卒業50周年記念祝賀会」を開催した。1960年に学部、大学院を卒業した約160名の方々が参加し、旧友との懐かしい再会を喜びながら会話を弾ませていた。

第1部の記念講演会では、坂本和一立命館大学名誉教授・立命館百年史編纂室長が「この半世紀—立命館の発展と変貌」と題してご講演され、1時間半に亘って熱弁を振るわれた。第2部の記念式典と懇親会では冒頭、応援団のリードのもとで学園歌を斉唱した後、西村義行立命館大学校友会副会長が挨拶し、母校や校友会の活動状況に加え、ご自身も卒業50周年の校友であるということから「同級生との再会が嬉しい」と感激しながら話していた。続いて、長田豊臣立命館理事長が立命館大学、および立命館アジア太平洋大学の取り組みや成果、さらに難関試験やスポーツでの学生の活躍について話された後、乾杯のご発声をされ、歓談が始まった。

中盤にはホームカミングデーの概要紹介や、選抜高校野球（3

月21日開幕）に出場する立命館宇治高校野球部への応援の願いなどがあった。さらに、終盤には、卒業50周年校友を代表して仲宗根宗督東京校友会副会長が謝辞を述べ、続いて森島朋三立命館常務理事が、参加した校友の方々へのお礼の言葉を述べられた。最後は再び応援団が登場し、参加者全員で寮歌と応援歌を斉唱して閉幕となった。

会場前には、末川博名誉総長の自筆の刻字が入った時計や、和箸といったオリジナルグッズの販売ブースが設置され、多くの人でにぎわっていた。これらのグッズはホームカミングデーでも販売される予定。



■ 記念講演会の様子



■ 再会を喜ぶ参加者たち

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

校友会本部役員

会 長	山中 諄	'65経済	南海電気鉄道(株)取締役会長兼CEO	副会長	住野 公一	'70経済	(株)オートボックスセブン相談役
副会長	浅賀 博	'58理工	元京都市交通事業振興公社常務理事	副会長	村上 健治	'70産社	大和ハウス工業(株)代表取締役社長
副会長	渡邊 申孝	'58経済	東洋精機(株)取締役相談役	副会長	林 幸雄	'73産社	(株)電広エイジェンシー代表取締役社長
副会長	西村 義行	'60経済	農業自営	副会長	肥塚 浩	'87院経済	(学)立命館総長特別補佐
副会長	清家 邦敏	'61経済	大成印刷(株)代表取締役社長	監 事	高橋 英幸	'69経済	(学)立命館一貫教育部担当部長
副会長	布垣 豊	'61法	京都中央信用金庫理事長	監 事	佐竹 力総	'70法	(株)美濃古代表取締役社長
副会長	西村 隆	'63法	びわ湖放送(株)代表取締役社長	監 事	鈴木 治一	'91法	弁護士

都道府県校友会

校友会名	会長名	事務局		連絡先電話番号 ※(職)は職場電話番号
立命館大学北海道校友会	広長 明夫	006-0805	札幌市手稲区新発寒五条1-8-1 中川 均 様	(職)011-251-3373
立命館大学東北北海道校友会	合田 賢二	080-0010	帯広市大通南21-18-2 勇昇印刷 本田公一 様 気付	(職)0155-23-7414
立命館大学青森県校友会	鎌田 学而	030-0803	青森市安方1-5-17 船水重利 様	017-722-2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020-0802	盛岡市つつじが丘7-3 酒井博忠 様	019-654-3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984-0831	仙台市若林区沖野4-5-20 柏原 晋 様	022-286-9928
立命館大学秋田県校友会	兜森 勲夫	010-0041	秋田市広面字糠塚110-1 ジェネラス広面306 兜森勲夫 様	018-834-6871
立命館大学山形県校友会	奥山 正明	991-0032	寒河江市南町2-3-13 奥山正明 様	0237-86-8387
立命館大学福島県校友会	富田 良夫	970-8026	いわき市平字六間門15 三村智春 様	0246-24-1386
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310-0903	水戸市堀町2247-8 木村幸夫 様	029-252-8401
立命館大学栃木県校友会	高野 雅文	329-1104	宇都宮市下岡本町3792-4 笠原朋雄 様	028-673-1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370-3521	高崎市棟高町1802-409 石橋 博 様	027-372-8422
立命館大学埼玉県校友会	常田 幸正	350-1105	川越市今成2-8-3 常田幸正 様	049-224-6535
立命館大学千葉県校友会	山本 良夫	273-0005	船橋市本町7-17-25-502 山本良夫 様	047-422-3270
立命館大学東京校友会	住野 公一	100-0005	千代田区丸の内1-7-12サピアタワー 8階 立命館東京キャンパス 気付	03-5224-8188
立命館大学神奈川県校友会	田中 健明	226-0006	横浜市緑区白山4-23-19 長谷川貞栄 様	045-933-4662
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950-0982	新潟市中央区堀之内南2-15-1 小畑正敏 様	025-247-2478
立命館大学富山県校友会	坪井新一郎	930-0004	富山市桜橋通り2-28 (株)名鉄トヤマホテル 参与 吉野久幸 様 気付	(職)076-431-2201
立命館大学石川県校友会	加納 裕	920-0211	金沢市湊2-21 加賀木材(株) 木場密雄 様 気付	(職)076-238-4131
立命館大学福井県校友会	村尾 敬治	910-3634	福井市大森町31-21 古村隆一 様	0776-98-4671
立命館大学山梨県校友会	野口 忠蔵	400-0024	甲府市北口1-5-26 ラブリハイツ707 川崎 毅 様	055-251-0428
立命館大学長野県校友会	桑原 政見	390-0822	松本市神田1-28-2 降幡信秀 様	0263-25-0279
立命館大学岐阜県校友会	成瀬 正	503-0886	大垣市郭町東2-10 (株)満留美 房野麻紀子 様 気付	(職)0584-73-1763
立命館大学静岡県校友会	大石 育三	416-0946	富士市五貫島639-2 大石育三 様	0545-63-8984
立命館大学愛知県校友会	林 幸雄	461-0004	名古屋市中区葵3-15-31 住友生命千種ニュータワービル14F (株)電広エイジェンシー 加藤智大 様 気付	(職)052-937-1250 (FAXのみ)
立命館大学三重県校友会	中山 一幸	516-0012	伊勢市通町448-1 勝原誠一 様	0596-25-9209
立命館大学滋賀県校友会	柊 勝次	520-8686	大津市浜町1-38 (株)滋賀銀行 システム部 高津知仁 様 気付	(職)077-521-2413
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604-8520	京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学内	075-813-8216
立命館大学大阪校友会	村上 健治	541-0041	大阪市中央区北浜3-1-18 島ビル6F 立命館大阪オフィス 気付	06-6201-3610
立命館大学兵庫県校友会	辻 寛	651-0085	神戸市中央区八幡通3-2-5 IN東洋ビル4階(株)SORA内立命館大学兵庫県校友会事務局長 岸本真之様 気付	(職)078-222-7111



2010年3月現在

校 友 会 名	会 長 名	事 務 局		連 絡 先 電 話 番 号 ※（職）は職場電話番号
立命館大学奈良県校友会	渡邊 申孝	634-0812	橿原市今井町3-2-32 福井徳丞 様	0744-22-1697
立命館大学和歌山県校友会	浦 哲志	640-8303	和歌山市鳴神248-51 山田啓二郎 様	073-471-4911
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680-0874	鳥取市叶122 西垣ビル（株）アド・ネットワーク 内 西垣佳則 様 気付	（職）0857-30-0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683-0037	米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント（株）内 大野木昭夫 様 気付	（職）0859-32-3308
立命館大学島根県校友会	坂根 勝	690-0851	松江市堂形町737-6 田中安信 様	0852-27-2903
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700-0903	岡山市北区幸町7-14 天水 幸町店 守屋博司 様 気付	（職）086-232-0945
立命館大学広島県校友会	伊藤 利彦	739-1734	広島市安佐北区口田町2-24-16 鎌倉正則 様	082-843-5462
立命館大学広島県東部校友会	岩村 寿夫	720-0082	福山市木之庄町3-8-5 岩村寿夫 様	084-923-4214
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	758-0011	萩市椿東2550-1 吉富晋吾 様	0838-22-8623
立命館大学宇部小野田校友会	渡邊 浩	755-8601	宇部市常盤町1-7-1 宇部市教育委員会 内 森島正信 様 気付	（職）0836-34-8613
立命館大学徳島県校友会	宮崎 房子	771-4261	徳島市丈六町溝筋21-1 宮崎房子 様	088-645-0897
立命館大学香川県校友会	村上 良一	760-0071	高松市藤塚町2-12-15-404 穴吹 学 様	087-862-3565
立命館大学愛媛県校友会	渡部 英夫	791-8022	松山市美沢1-1-23-203 石田二郎 様	089-925-2547
立命館大学高知県校友会	松岡 昭臣	780-8086	高知市針木東町26-51 みにに産業（株） 三谷修一 様 気付	（職）088-844-9650
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816-0092	福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷（株）内 清家邦敏 様 気付	（職）092-472-2621
立命館大学北九州校友会	奥野 照章	804-0025	北九州市戸畑区福柳木2-3-11 初村雅敬 様	093-882-9240
立命館大学佐賀県校友会	西村 邦彦	842-0014	神埼市神埼姉川2215 伊香賀俊介 様	0952-53-4243
立命館大学長崎県校友会	横山 正人	850-0037	長崎市金屋町4-5（株）長崎ガードシステム 内 山口孝司 様 気付	（職）095-825-3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860-0017	熊本市練兵町1 財団法人地域流通経済研究所内 飯田俊之 様 気付	（職）096-322-2566
立命館大学大分県校友会	岡崎 信行	870-0128	大分市森108-83 佐藤昌彦 様	097-521-5392
立命館大学宮崎県校友会	高橋 一身	880-0022	宮崎市大橋1-199 南 英輝 様	0985-24-2663
立命館大学鹿児島県校友会	福元 寅典	890-0054	鹿児島市荒田1-62-8（有）宮田光二商店 内 西元泰光 様 気付	（職）099-253-1211
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900-0005	那覇市天久2-28-23-203 島袋 健 様	090-7587-0858

学部校友会

衣笠キャンパス 603-8577 京都市北区等持院北町56-1				びわこ・くさつキャンパス 525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1			
校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連 絡 先 電 話 番 号	校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連 絡 先 電 話 番 号
立命館大学法学部同窓会	大井 一星	法学部事務室	075-465-8175	立命館大学経済学部同窓会	住野 公一	経済学部事務室	077-561-3940
立命館大学文学部校友会	西川 富雄	文学部事務室	075-465-8187	立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務室	077-561-3941
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務室	075-465-8184	立命館大学理工系同窓会連絡協議会	八村広三郎	総合理工学院企画課	077-561-2624
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務室	075-465-1211				
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務室	075-465-7877				

海外支部

立命館大学校友会北カリフォルニア支部	立命館大学校友会バンクーバー支部	立命館大学シンガポール校友会	立命館大学北京校友会
立命館大学ロスアンジェルス校友会	立命館大学英国校友会	立命館大学校友会マレーシア支部	立命館上海校友会
立命館テキサス会	立命館大学シドニー校友会	在韓立命館大学同門会	
立命館大学校友会シカゴ会	立命館大学インドネシア校友会	立命館大学校友会台湾支部	
立命館ニューヨーク校友会	立命館大学タイ王国校友会	立命館大学香港校友会	

立命館はご卒業後もあなたのそばに

各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 な ど
各種証明書の申込について	◆法学部事務室 (法学部 / 法学研究科) TEL. 075-465-8175 ◆文学部事務室 (文学部 / 文学研究科) TEL. 075-465-8187 ◆産業社会学部事務室 (産業社会学部 / 社会学研究科) TEL. 075-465-8184 ◆国際関係学部事務室 (国際関係学部 / 国際関係研究科) TEL. 075-465-1211 ◆政策科学部事務室 (政策科学部 / 政策科学研究科) TEL. 075-465-7877 ◆経済学部事務室 (経済学部 / 経済学研究科) TEL. 077-561-3940 ◆経営学部事務室 (経営学部 / 経営学研究科) TEL. 077-561-3941 ◆総合理工学院事務室 (理工学部 / 理工学研究科) TEL. 077-561-2625 (情報理工学部) TEL. 077-561-5202 (テクノロジー・マネジメント研究科) TEL. 077-561-3421 ◆独立研究科事務室 (応用人間科学研究科・言語教育情報研究科・先端総合学術研究科) TEL. 075-465-8375 ◆プロフェSSIONALSスクール事務室 (法務研究科・経営管理研究科・公務研究科) TEL. 075-813-8270	卒業学部・研究科の事務室にお越しいただくか、封書でお申し込みください。直接お越しの際は必ず身分証明書 (運転免許証・健康保険証等) をご持参ください。郵送での申し込みの際は、下記の必要事項を明記していただき『発行手数料分の郵便為替 (定額小為替) 』と『返信用封筒 (切手を貼り、送り先を明記) 』を同封の上、お送りください。なお、ご不明な点がございましたら、各学部事務室までお問い合わせください。 【必要事項】 ● 氏名・フリガナ ● 卒業年月 ● 卒業学部・学科・専攻・学生証番号 ● 生年月日 ● 現住所 ● 連絡先電話番号 ● 利用目的 (簡単に) ● 請求される証明書の種類と枚数、和文/英文の別 ※厳封が必要な場合はその旨ご指定ください。 【手数料】 ● 卒業 (修了) 証明書・成績証明書・基礎資格単位修得証明書・各種証明書: 1通300円 ※英文証明書も同額です 【返信用封筒・郵送料】 ● 証明書枚数1枚まで: 定型筒最大封筒 (長形3号) に切手80円を貼付してください。 ● 証明書枚数2枚以上: ご卒業の学部・研究科事務室にお問い合わせください。
図書館の利用	◆衣笠図書館 TEL. 075-465-8217 ◆メディアセンター (BK) TEL. 077-561-2634 ◆メディアライブラリー (BK) TEL. 077-561-3943 ◆朱雀リサーチライブラリー TEL. 075-813-8257 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/mr/lib/	● 利用登録申請が必要です。下記の必要書類をご用意のうえ、衣笠図書館1階インフォメーションカウンター、メディアセンター1階サービスカウンター、メディアライブラリー2階サービスカウンターのいずれかで所定の手続きをお済ませください。その場でライブラリーカードを発行します。(土日の発行は行っておりません。) ● 申請は、閉館時刻の1時間前まで受け付けています。 ※衣笠図書館では、昼休み (開講中は11時半～12時半、それ以外は12時～1時) には発行を行っておりません。 ● 開館日・開館時間は、ホームページにてご確認ください、お問い合わせください。 【申請にあたってご用意いただくもの】 1. 次のいずれかの書類の原本 (現住所の確認をさせていただきます。) 運転免許証・健康保険証・住民票の写し (発行後1ヵ月以内) 2. 利用申請書 (図書館備え付け)
東京キャンパスの利用	◆東京オフィス 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-19 辰沼建物ビル8F (東京駅八重洲北口から外堀通りを渡り北へ徒歩1分) TEL.03-5204-8611 ◆東京キャンパス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 (東京駅日本橋口直結) サピアタワー8F TEL.03-5224-8188	東京オフィスは立命館の東京 (首都圏) における学生の就職活動の拠点、および東京校友会事務局として機能しています。オフィス内にはインターネット端末も設置されており、校友の方もご利用いただけます。東京キャンパスでは東京 (首都圏) でのリエゾン活動や、ビジネスマン、実務家、社会人を対象に多くの方に感動を与えられる講座を開講しています。 ※校友への各種証明書発行はしていません。
大阪オフィスの利用	◆大阪オフィス (アカデミア@大阪) 〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-18 島ビル6F (京阪電車淀屋橋駅14-B出口すぐ) TEL.06-6201-3610	大阪オフィス (アカデミア@大阪) は立命館の大阪での教育拠点で、学生の就職活動支援、大阪校友会事務局に加え、社会人大学院 (MOT、MBA) など開講。また、多彩な公開講座も開かれています。さらに、行政機関や企業と学園をつなぐ総合窓口としての機能も有しています。校友活動用として、セミナールームをご利用いただくことができます (事前申込要)。 ※校友への各種証明書発行はしていません。
会館の利用	◆末川記念会館 TEL.075-465-8234 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/gi/suekawa/	末川博名誉総長の生前の書斎を模したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な陪審法廷、故白川静名誉教授の研究成果を広く公開している「白川静記念東洋文字文化研究所」、ホール、会議室 (利用は事前申込要)、レストランなどがあるほか、立命館土曜講座も当会館で行っています。研究会や会議にご利用ください。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
大学 進学 への	◆各学部事務室(大学院担当)・研究科事務室 [TEL. P.24参照] または ◆大学院課 TEL.075-465-8195 http://www.ritsumei.jp/gr/index_j.html	立命館大学大学院では、各研究科において積極的に社会人を受け入れ、働きながらでも学びやすいシステムの導入に努めています。研究科ごとに多様な社会人入学制度がありますので、詳しくは各研究科の事務室までお問い合わせください。
エクステンションセンターの利用	◆エクステンションセンター [衣 笠] TEL.075-465-8297 [BKC] TEL.077-561-2853 [朱雀] TEL.075-813-8285 http://www.ritsumei.jp/extension/index_j.html	エクステンションセンターでは、進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための講座や、学科の特色を活かした多彩な講座を開講しています。立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業、または修了している方は「エクステンションセンター 校友特別受講制度」が適用されます。 【エクステンションセンター 校友特別受講制度】 ●制度内容 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。 ●対象講座 法曹(司法試験)、公認会計士、税理士、弁理士、国家公務員I種、外務省専門職を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認ください。 ●利用方法 エクステンションセンター窓口へお申込みください。申込書はホームページからダウンロードできます。 ●提携専門機関 辰巳法律研究所 http://www.tatsumi.co.jp/ 大原学園 http://www.o-hara.ac.jp/ TAC http://www.tac-school.co.jp/ 早稲田セミナー http://www.w-seminar.co.jp/
校 友 サ ロ ン の 利 用	[衣 笠] 国際平和ミュージアムロビー (1階、および2階) ◆教育文化事業課(国際平和ミュージアム1階) http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/	●火～日曜日 9:30～16:30 (休館：月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか) ●2階ロビーにお茶の自販機設置(1階ロビーでの飲食はご遠慮下さい) ●国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご覧いただけます。 ご希望の方は1階教育文化事業課窓口にお申し出下さい。 無料見学は、校友ご本人と同伴の若干名に限らせていただきます。
	[BKC] コアステーション3階ラウンジ ◆コアステーション1階キャンパス事務課	●月～土曜日 9:00～20:00 (休室：日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●コーヒー等の自販機設置 ●ご利用の際は、コアステーション1階キャンパス事務課へお越し下さい。 (執務時間：月～金曜日 9:00～17:30、一次対応)
	[朱雀] 朱雀キャンパス：6階校友ロビー ◆校友会事務局(朱雀キャンパス6階)	●月～金曜日 9:00～17:30 (休室：土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声かけ下さい。 ●校友会事務局にて接遇いたします。コーヒー自販機設置。
	○いずれも事前申込は不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承下さい。 ○衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではございませんことを何卒ご理解下さい。 ○各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません(おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております)。 ○夏期および年末年始の休室期間のお問合せ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡下さい。 ○アクセスマップ http://www.ritsumei.jp/accessmap/index_j.html 立命館大学校友会事務局(校友・父母課) http://alumni.ritsumei.jp/ TEL.075-813-8216 E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp	

大 学 の 業 務 日 時	
通常の業務日時	月～金曜日 9時～17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、夏期・年末・年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休日は別途定めます。

住 所 等 の 変 更 ご 連 絡 先
立命館大学校友会事務局(校友・父母課) TEL.075-813-8216 FAX.075-813-8217 【住所変更専用フリーダイヤル】 TEL.0120-252-094 FAX.0120-252-095 【校友会ホームページからも変更可能です】 https://alumni-ritsumei.jp/form/change.html ▶【登録内容変更について】

3D仮想空間で広小路学舎を再現！ 次世代のコンテンツビジネスモデルを追求する

映像学部 細井 浩一 教授

インターネット上の3Dメタバース（仮想空間）で広小路学舎を再現—そんな取り組みが進んでいる。これは6月6日（日）の「立命館大学ホームカミングデー」（3～9ページに関連記事）の目玉で、皆さんが広小路学舎を3Dで体験できる夢の企画だ。この空間を設計する細井浩一教授は、映像やゲームなどの「コンテンツ」とメタバースやモバイル通信などの「先端情報技術」を融合させたビジネスモデルを構築している。

広小路学舎を再現

「コンテンツ産業は、大げさな言い方をすれば、日本の“産業の米”になりうるといってもよい分野です。コンテンツ（情報の内容）という用語は少し味気ないものですが、その中身は『人と人の心をつなげる技術やノウハウ』の集大成に外なりません」

パソコンの画面上に「アバター^{*1}」と呼ばれるキャラクターが仮想の広小路学舎付近を散策する様子を映し、こう切り出した。「バーチャル広小路」は、セカンドライフ®というインターネット仮想空間サービスを利用して細井研究室が設計したもので、当時の資料や写真に基づき、学舎のほか、周辺の街並みも再現する。

次世代のコンテンツビジネスを研究

文部科学省グローバルCOEプログラムの日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点^{*2}では、細井教授の所属するチームが、この技術を用いて自分のアバターが「能」を体験できる世界初の仮想空間を制作している。これは、立命館大学の総合力による世界的な研究成果を広く公開するために制作したもので、専用のシム（仮想空間上の場所）を訪問したアバターが、舞台の上で能を「舞う」仕組みだ。この舞自体も、「モーションキャプチャ^{*3}」を利用したグローバルCOEにおける伝統芸能研究の成果である。

「メタバースはまだこのような研究機関、教育機関での活用が典型ですが、視覚化が困難であった対象を緻密に、わかりやすく、またおもしろく（楽しく）再現していくニーズは社会的に膨大に存在します。そのようなニーズを受け止めたビジュアライゼーション（可視化）産業が、最も早く次世代のコンテンツビジネスモデルとして確立していくでしょう」。

細井教授は、このような考え方に基づいてメタバースを活用した新しいビジネスモデルの研究を進めており、既に地方自治体からの委託で、伝統的な染め物のデザインを、その場でバーチャル着物に変形させてアバターに試着できる仮想空間を設計したほか、産学連携プロジェクトとして、これまでに類を見ない体験型の就職活動支援用バーチャル空間などを制作中とのことである。



映像学部 教授／副学部長
アート・リサーチセンター 副センター長
博士（経営学 立命館大学）

^{*1} ウェブサービス上に用意された仮想空間で自分の分身として顔、髪型、服飾、装飾品などを自由に選択して作成できるオリジナルキャラクター

^{*2} 人文系と情報系の融合を狙い、京都や日本文化にかかわる無形・有形文化財のデジタルアーカイブの構築とデータベースを蓄積してきた21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」をさらに発展させた世界レベルの研究拠点形成事業。

^{*3} 現実の人物の動きをデジタルデータとして記録する技術。保存されたデータは、デジタルなアバターの動作として再現できる。

PROFILE

1958年 石川県金沢市生まれ

1982年 立命館大学経営学部卒業

1987年 立命館大学大学院経営学研究科
博士課程単位取得

●研究テーマ コンテンツ産業論（創造産業論）
コーポレート・パワーに関する理論と実証研究
コンテンツ産業（創造産業）の構造とガバナンス
ゲームアーカイブの構築と社会的活用
メタバースにおけるビジネスモデル構築

●専門分野 企業統治論

コンテンツ産業論（創造産業論）

●所属学会 日本経営学会、日本デジタルゲーム学会（副会長）、サイエンス映像学会（理事）、ゲーム学会（評議員）、日本シミュレーション&ゲーミング学会

さらに、細井教授が構築するビジネスモデルは、現実の市場動向や地域振興政策などとの関連を追求するところに特徴がある。例えば、東映太秦映画村を舞台に、戦国武将ファンが集まる人気のイベント「太秦戦国祭り」。この仕掛け人も細井教授だ。2007年から毎年秋に開催しているこのイベントは、魅力的な施設を持つ映画村と、時代劇の舞台で衣装を着て楽しみたいという戦国武将ファンのニーズをマッチさせたもので、最近の“歴史ブーム”の後押しもあって、ゲームやアニメなどのキャラクターに扮した若者と年配者が中心の甲冑武者が一緒になって様々なイベントを楽しんでいる。映画産業の縮小によって活気がなくなってきた太秦地域の活性化にも一役買っているのは言うまでもない。

映像学部の挑戦

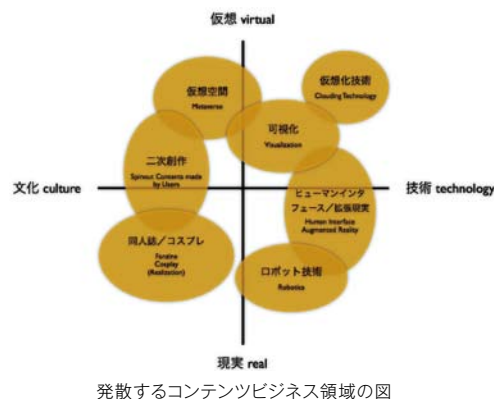
2010年度に1～4回生のすべての学年がそろう映像学部は、「アート、テクノロジー、ビジネスの融合により映像分野のプロデュースができる人材を育成する」というコンセプトであり、映画やゲームなどのクリエイターだけではなく、コンテンツを活用したビジネスをプロデュースできる人材育成にも力を入れている。

細井教授は、新しい映像学部の卒業生とその可能性について次のように述べて締めくくった。「これからは分野を横断するプロデューサーやクリエイターの需要が高まってくると考えます。先端的な映像技術を活用して、社会的なニーズを可視化したり、サービス化したりするビジネスがビジュアライゼーション産業として立ち上がってくるとすれば、他方では太秦戦国祭りに見られるように、アニメやゲームのキャラクターになるために衣装や道具、空間に対して支出を惜しまない消費者が存在します。後者のような新しいコンテンツビジネスをリアライゼーション（具現化）産業と考えれば、ビジュアライゼーションからリアライゼーションにまたがる新しいコンテンツビジネスが生まれる可能性があります。映像学部の学生は、映像に関する制作技術と社会的知識の両方を身につけて卒業しますから、このような映像技術と他分野とを融合させた新ビジネスを切り開くチャンスが大いにあると考えています」。



コンテンツビジネスの可能性

コンテンツビジネスの可能性は未知数だ。細井教授によると、映像や音楽、ゲーム、マンガといったコンテンツの中核となる産業の市場規模は14兆円、そしてコンテンツを加工、調整する産業（衣類や玩具など）は10兆円程度にとどまるが、コンテンツの影響の広がりには計り知れず、幅広い分野で“発散”するという。この「コンテンツ産業の発散」の領域は仮想・現実と文化・技術を両軸とした分野に広がり、コンテンツ自体が可視化、仮想化技術、ヒューマンインタフェース、二次創作・コスプレ、ロボティクス分野などと絡み合うことで、その市場規模はコンテンツ産業の本体をはるかに超えると推定される。



学生スポーツ & イベント

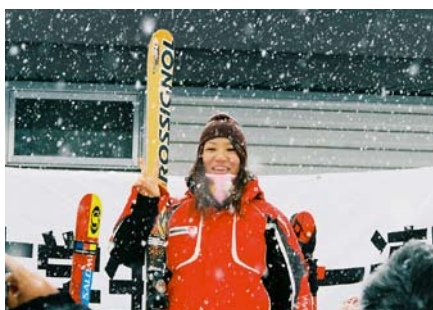
SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

スキー部

第83回全日本学生スキー選手権大会、 小林大郁さん、大橋亜郁さんが初優勝

(1月11日～17日 長野県白馬村)



初優勝した大橋亜郁さん

第83回全日本学生スキー選手権大会において、小林大郁さん(経営学部2回生)が男子1部大回転で初優勝を成し遂げ、男子1部回転でも準優勝となった。男子チームも、創部史上最高となる総合5位入賞を果たした。

また女子1部スーパー大回転において大橋亜郁さん(経営学部3回生)が初優勝し、金子未里さん(経済学部3回生)も女子1部大回転で3位に入った。女子チームは、2年連続で総合4位を獲得した。

女子陸上競技部

第7回全日本大学女子選抜駅伝で 惜しくも2位

(12月23日 茨城県つくば市)

第7回全日本大学女子選抜駅伝競争において、女子陸上競技部が2位となった。

第1回大会から続いていた連覇を7に伸ばす



ことはできなかったものの、2区山本菜美子さん(経営学部3回生)が区間新記録、6区小島一恵さん(経営学部4回生)が区間タイ記録での区間賞を獲得する活躍をするともに、チーム全員が力走を見せた。

水泳部(シンクロ)

ナショナルトライアル2009で 乾友紀子さんが優勝

(1月24日 東京辰巳国際水泳場)

2010年1月24日(日)東京辰巳国際水泳場においてナショナルトライアル2009(2010年度シンクロ代表派遣候補選手選考会)が開催され、3つの選考課題に臨んだ。乾友紀子さん(経営学部1回生)が見事優勝し、3位に小林千紗さん(経済学部4回生)が入り、ワールドカップ2010、第16回アジア競技大会の日本代表に決定した。

立命館宇治高等学校

立命館宇治高等学校硬式野球部、 春のセンバツ大会出場決定!

(1月29日 立命館宇治高等学校)



立命館宇治高等学校硬式野球部の第82回選抜高校野球大会へ出場が決まった。昨年の秋季京都府高等学校野球大会の優勝および秋季近畿地区高等学校野球大会でのベスト4進出が評価された。今回は、2004年の第76回選抜大会出場から6年ぶり2度目の甲子園出場となる。

第82回選抜高校野球大会は、3月21日(日・祝)に甲子園球場で開幕する。

第40回全国高等学校 アメリカンフットボール大会決勝戦 (クリスマスボウル) 惜しくも準優勝

(12月23日 東京都・味の素スタジアム)

高校アメフト日本一を決める第40回全国高

等学校アメリカンフットボール大会決勝戦(クリスマスボウル)に初出場した立命館宇治高校は関東代表の日本大学第三高等学校と対戦、9-12で敗れ、惜しくも初優勝を逃し、準優勝となった。



CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

かるた会

史上最年少の永世かるたQueen、 楠木早紀さんが6連覇!

(1月9日 近江神宮勸学館)

第54期Queen位決定戦が開催され、史上最年少の永世かるたQueenで立命館大学かるた会の楠木早紀さん(産業社会学部2回生)が6連覇を果たした。



女流選手権で本多末佳さんが優勝

(12月23日 京都市時雨殿)

第41回全国競技かるた女流選手権が行われ、A級部門で本多末佳さん(産業社会学部2回生)が優勝を飾った。

この大会には、小学生から70歳まで、およそ100名が参加した。



ダブルダッチサークル

「dig up treasure」のチーム 「CANADA」が世界大会で準優勝!

(12月19日 アメリカ・ニューヨーク)

ダブルダッチの世界大会である「18th Annual Double Dutch Holiday Classic」が開催された。本学のダブルダッチサークル「dig up treasure」のチーム「CANADA」が日本代表として出場し、準優勝となった。



競技ダンス部

全日本学生競技ダンス選手権大会 フォーメーション部門で3位入賞

(12月6日 東京都・駒沢オリンピック公園)

第54回全日本学生競技ダンス選手権大会のフォーメーション部門において、競技ダンス部が3位入賞を果たした。フォーメーション部門は、全国の予選を勝ち抜いた10校で戦われた。



囲碁研究部

全日本大学囲碁選手権にて、 優勝(2連覇)!

(12月23日～26日 東京都・市ヶ谷日本棋院)

第53回全日本大学囲碁選手権において、囲碁研究部が見事2連覇し、4回目の優勝を果たした。

地区予選を勝ち抜いた8大学が出場し、5人

編成の総当たり団体戦が行われた。最終戦では早稲田大学と全勝同士の対戦となり、5勝0敗と会心の勝利を収め、見事日本一となった。



珠算部

そろばんクリスマスカップ2009 一般の部(団体)で優勝

(12月20日 埼玉県さいたま市浦和コミュニティセンター)

そろばんクリスマスカップ2009において、大学生以上の一般の部で珠算部が見事優勝を果たした。

大会では小学生から一般まで含めた予選を勝ち抜いた上位500名が、各部門に分かれて争った。



将棋研究会

全日本学生将棋団体対抗戦(王座戦) にて、準優勝

(12月25日～27日 三重県四日市市文化会館)

第40回全日本学生将棋団体対抗戦が行われ、全国8地区の予選を勝ち抜いた10大学で「王座」を争った。

将棋研究会は全勝同士であった東京大学と対決し、惜しくも敗れ、準優勝となった。

立命館大学放送局

NHK全国大学放送コンテストで、 映像CM部門優勝を含む2部門で入賞!

(12月5日、6日 京都市生涯学習総合センター)

第26回NHK全国大学放送コンテストが開催され、立命館大学放送局(RBC)が2部門で入賞した。

立命館大学放送局は、6部門出品し4部門が予選を勝ち抜き本選に出場。本選で映像CM部門1位、テレビドキュメンタリー部門2位という快挙を成し遂げた。



応援団吹奏学部

アメリカでの世界最大級パレードに 参加!

(12月28日～1月2日 アメリカ)

応援団吹奏楽部が、関西の高校生・大学生で結成されたKANSAI HONOR GREEN BANDの一員として世界最大級で120年の歴史を誇るローズパレードなどに参加した。アジア代表として出場し、集まった観衆から大歓声を集めた。

第46回定期演奏会を開催

(12月12日 京都コンサートホール大ホール)

応援団吹奏楽部による第46回定期演奏会が開催された。この定期演奏会は、2009年最後の演奏会というだけでなく、4回生にとっては応援団吹奏楽部員としての最後の演奏となる舞台で、今回は1,094名が来場。大盛況のうちに終演した。



BKCクインスタジアムの 植栽のロゴ「Rits」が「R」に変身

2009年12月、びわこ・くさつキャンパス(BKC)クインスタジアムの植栽を用いた「Rits」のロゴマークが、立命館大学校友会の寄付により、新たに「R」へと変身しました。

「R」は07年10月に制定された立命館のコミュニケーションマークで、今回の「R」の植栽は、立命館大学校友会が09年の設立90周年を記念して改修しました。以前のクインスタジアムのシンボリック存在だった「Rits」は、94年3月に立命館大学アメリカンフットボール部パンサーズOB会から寄贈されたもので、15年余の間、BKCのシンボルとして立命館に関わる多くの人に愛されてきました。

「Rits」の往時の姿を残し、「R」が変わらずスタジアムのシンボルとして、末永く愛されるように願い、今後、記念プレートを設置する予定です。立命館大学校友会、ならびに立命館大学アメリカンフットボール部パンサーズOB会のご厚情に多大なる敬意を表します。



改修前

改修後

川口清史立命館総長が 「第三期 日韓文化交流会議」の 日本側座長に就任

川口清史立命館総長が「第三期 日韓文化交流会議」の日本側座長に就任することが決まりました。

日韓文化交流会議とは両国の国民レベルの交流、特に若い世代の交流を一層拡大するために、いかなる政策が必要かにつき両国の有識者間で検討し、両国政府に提言する会議です。1999年3月の日韓首脳

会談(小渕恵三総理、金大中大統領)において設置を合意しました。

第一期(1999年～2002年)は、三浦朱門氏(作家)、第二期(2004年～2007年)では平山郁夫氏(画家)が日本側の座長を務めました。

川口総長にはアジアで幅広く教育・研究活動に取り組む立命館の総長として、両国そしてアジアの未来を見据えた議論の取りまとめが期待されています。

政策科学部学生が老舗和菓子店と 新商品を企画

立命館大学政策科学部2回生ゼミクラス(指導教員:服部利幸教授)の学生7人



が、京都の老舗京菓子「長久堂」と共同で、成人式に合わせた若者向けの商品

「晴れ姿」の企画を行いました。

問題解決型人材の育成を目指す立命館大学政策科学部では、2回生の段階でフィールドワークに取り組みます。今回、学生の視点より中小企業の問題解決に取り組むというプログラム(Small business Support Center)のもと、「京都の和菓子プロモーション」をテーマに活動を行いました。2009年7月から学生が和菓子職人へのヒアリング調査や市場調査を実施。調査結果をキャンペーンや商品企画に取り入れました。

完成した商品は2009年1月5日から1月31日まで「長久堂」にて販売されました。



「京都太秦物語」の 完成披露試写会を実施

1月31日(日)、京都市内の映画館で立命館大学と松竹株式会社共同製作映画「京都太秦物語」の完成披露試写会が行われました。

会場には、山田洋次監督・阿部勉監督をはじめ、撮影舞台となった大映通り商店街の方々や学生など、多くの関係者が集まりました。

映画の製作には映像学部生22名がスタッフとして参加。山田洋次監督や松竹映画撮影陣の指導のもと、2008年度より製作に関わってきました。

「京都太秦物語」は2月11日から25日に開催された第60回ベルリン国際映画祭で、前衛的な映画や若手映画作家の作品を中心に上映される「フォーラム部門」へ出品。学生十数名が参加しました。日本での公開は2010年5月に予定されています。



山田監督と映像学部生

大学内で学生が中心となった 取り組みが活発に

BKCキャンパス整備・学生スタッフによる 2009年度最終プレゼンテーションを開催

12月16日(水)、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)において、BKCキャンパス整備・学生スタッフ(キャンパス整備スタッフ)による2009年度最終プレゼンテーションを開催しました。

プレゼンテーションではキャンパス整備スタッフが「キャンパスの緑化」・「自然緑地の活用」・「飲食物販機能の充実」・「交通

Rマークプロモーションコンテスト開催

校友のみなさんぜひご応募ください!

立命館に関わる人の「心をひとつ」にするため、Rマークが誕生して今年で3年目。2008年、2009年に実施したRマークプロモーションコンテストの受賞作品は、校友大会、Rマークグッズ、在学生向けホームページ「RS Web」などで展開されています。

今年もRマークプロモーションコンテストを開催します。今回は、Web投票によるオープン審査などを新たに導入! みんなが参加し、みんなで選ぶ企画となっています。優秀作品には賞金や商品も進呈。斬新なアイデアをお待ちしています。



プロモーション部門

Rマークを通じて立命館を好きになってもらえる、身近に感じてもらえるようなプロモーションのアイデアを広く募集します。

最優秀賞(1点) 10万円 / 優秀賞(1点) 5万円

※この他にも部門賞を多数用意しています。



Tシャツ部門

Rマークを使ったTシャツのデザインを広く募集します。また、Tシャツを使った簡単なプロモーション案も合わせて募集します。

最優秀賞(1点) 5万円+デザインTシャツを製作 / 優秀賞(1点) 3万円+デザインTシャツを製作

※この他にも部門賞を多数用意しています。

Rマークプロモーションコンテスト(プロモーション部門)の受賞作品は、こんなカタチになりました。



受賞作品が形になったオール立命館校友大会2008 京都駅での缶バッジキャンペーン

参加資格

立命館関係者(学生、生徒、児童、教職員、校友・父母等)

※個人での応募、団体での応募どちらでも可能です。

※両部門へのエントリー、複数企画のエントリーも可能。

応募締切

2010年5月11日(火) 17:30まで

※郵送の場合は当日消印有効

応募方法などの詳細は、下記ホームページよりご欄下さい。

<http://www.ritsumei.jp/r-project/promotioncontest.html>

東京

2010年度 立命館東京キャンパス 立命館京都文化講座のご案内

「明治維新と京都」

コーディネーター 小関 素明(立命館大学教授)

徳川幕府、西南雄藩、そして維新の志士など多くの人々や諸政治勢力の膨大なエネルギーが渦巻く幕末・明治維新期の京都。彼らは何に憤り、何を期待し、何を夢見たのか。京都を拠点に活躍する最先端の研究者がその躍動を活写する連続講座。

<資料請求>

東京キャンパス 03-5224-8188

http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/index_j.html

回	日程	時間	タイトル	担当
第1回	4/24(土)	10:30 ~12:00	桂小五郎と木屋町	青山忠正(佛教大学 教授)
第2回	5/8(土)		黒住教と禁裏御所 幻の八・一七政変	奈良勝司(立命館大学 講師)
第3回	5/22(土)		坂本龍馬三万キロの旅	山崎有恒(立命館大学 教授)
第4回	5/29(土)		明治維新と天皇	高木博志(京都大学 准教授)
第5回	6/5(土)		幕末維新期の鳩居堂	小林丈広(京都市歴史資料館)

●定員 60名

●受講料 全5回 各回3,000円

大阪

2010年度 立命館大阪プロムナードセミナーのご案内

2008年以来、好評を博して参りました「立命館大阪プロムナードセミナー」。今年度も5月から3講座を開講いたします。お早めにお申込みください。

大阪・京都文化講座(前期)「京と大坂一歴史・文化・学問をたどる」

大阪大学21世紀懐徳堂、立命館大学文学部、立命館大阪オフィス 共催

コーディネーター: 桂島 宣弘(立命館大学文学部教授)

回	日程	タイトル	担当
第1回	5/10(月)	近世京都の学問と伊藤仁斎	桂島宣弘(立命館大学 教授)
第2回	5/17(月)	聖武天皇と難波	市 大樹(大阪大学 准教授)
第3回	5/31(月)	冷泉家の歴史と文化	冷泉為人(立命館大学 客員教授)
第4回	6/14(月)	淀川治水を通してみた江戸幕府畿内治水政策の転換	村田路人(大阪大学 教授)
第5回	6/28(月)	昭和の幕開けと京都	小関素明(立命館大学 教授)
第6回	7/5(月)	モダン都市大阪の衛生・疾病・環境	廣川和花(大阪大学総合学術博物館 助教)
第7回	7/12(月)	作られた「京都」らしさと景観	中本 大(立命館大学 教授)
第8回	7/26(月)	大阪財界人の文化活動一懐徳堂記念会の設立とその周辺一	飯塚一幸(大阪大学 教授)

●定員 80名

●受講料 全8回受講 13,000円 ※1回ずつの場合は2,000円/回

いずれの講座も

●会場 立命館アカデミア@大阪 6階 6Aセミナールーム

※立命館アカデミア@大阪は、2011年1月より梅田に移転いたします。

詳細については、追って大学ホームページ等でお知らせいたします。

●時間 14:00 ~ 15:40(講演90分、質疑応答10分)

●問い合わせ・申込み先 立命館大阪オフィス 電話: 06-6201-3610

木津川計 生活文化講座

講師: 木津川 計(『上方芸能』発行人、元立命館大学教授、和歌山大学客員教授)

回	日程	タイトル
第1回	5/14(金)	<葬式と結婚式>の風景はなぜ変わるのか
第2回	7/9(金)	<道楽>はなぜ貶(おとし)められたのか
第3回	9/10(金)	<趣味人>はなぜ国語辞典に収められないのか
第4回	11/12(金)	<自己責任>はなぜ生み出されたのか
第5回	2011/1/14(金)	<生涯学習力>はなぜ強められなければならないのか
第6回	2011/3/11(金)	<都市格>を大阪はなぜ低下させたのか

●定員 100名

●受講料 全6回受講 6,000円 ※1回ずつの場合は1,500円/回

安斎育郎「折々の談一自然・人間・社会を語る」

講師: 安斎 育郎(立命館大学国際関係学部教授)

回	日程	タイトル
第1回	5/24(月)	古稀を迎えまた一杜甫『曲江』のこと
第2回	7/20(火)	バンキン爆弾、トップレス&月面着陸
第3回	9/13(月)	琉球人が展示された人間館事件
第4回	11/15(月)	ケブラーの忌日に占星術を語る
第5回	2011/1/17(月)	十二支にはなぜネコがいない?
第6回	2011/3/14(月)	科学者と宗教者—それぞれの役割

●定員 100名

●受講料 全6回 6,000円 ※1回ずつの場合は1,500円/回

アクセスの改善」の4つのテーマで、現状報告と問題点の提示、その解決策を提案しました。発表を受けて教職員から各チームに対する質問や提案も行われ、BKCラン



チストリート計画や、ビーイングスクエアの緑化など、具体的な案が話し合われました。

キャンパス整備スタッフは2008年5月に発足。1年目は5名で活動をスタートし、2年目の今年は11名のスタッフが学生の目線からのより良いキャンパス作りを目指して活動に取り組んでいます。

「学生FDサミット・2010冬 ～大学を変える、学生が変わる。～」を開催

2月20日(土)・21日(日)衣笠キャンパスにて、「学生FDサミット・2010冬～大学を変える、学生が変わる。～」を開催しました。このサミットは、立命館大学の学生FDスタッフが中心となり企画されました。各大学の教育に関する取り組みの紹介や交流を目的とした企画であり、全国の大学から約180名の学生、教職員が参加しました。

1日目は、各大学のFDの取り組みの発表と、グループによる「しゃべり場」が行われました。

発表では、「学生が企画する授業の実施」や、「学生と教職員の座談会の開催」などの取組みが紹介されました。

「しゃべり場」は、1グループ6～8人ほどの人数で行われ、「大学・教育で問題に感じる点とその解決案」をテーマに学生が自由



に議論。学生からは「大学や授業に無気力な学生が多い」、「教職員との触れ合いが少ない」などの問題点が挙げられました。

2日目には「しゃべり場」の続きが行われ、教職員も交え学生の挙げた問題について議論を深め、グループごとに改善目標についての発表を行いました。

立命館京都文化講座「京都に学ぶ」 ブックレット第2期、 「京の風土と景観」を発行

立命館京都文化講座「京都に学ぶ」ブックレット第2期(2008年度の講義分)4冊シリーズの第1弾として、第5巻「京の風土と景観」を発売しました。第1期(2007年度の講義分)は、歴史や文化に関するテーマが中心でしたが、第2期では、地理や考古学といったテーマも登場。第5巻では平安時代から現代まで、京都の景観や風土をユニークな視点から考察しています。



「京都に学ぶ」第5巻

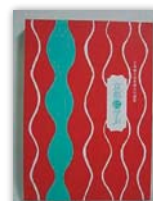
立命館グッズ「Rマーク」不織布バック プレゼントキャンペーンを実施中

身近に「立命館」を感じて頂ける、オリジナルグッズを販売しています。インターネッ

ト、電話、FAXでもお求め頂けます。

グッズを3000円以上お買い上げの方には、「Rマーク」ロゴ入り不織布バッグをプレゼントしています!

皆様も是非ご利用下さい。



「京都に学ぶ」4冊組



チョコレート



不織布バッグ



※キャンペーンはロゴ入り不織布バッグがなくなり次第、終了いたします。

● インターネットでのご注文

次のアドレスにアクセスください。

<http://www.ritsumeishop.com/>

● FAXでのご注文

次の事項をご記載のうえ、FAXでご注文ください。

必要事項: お名前、ご住所、電話番号、FAX番号、

希望お支払い方法

商品情報: 希望商品名(色・サイズ)、単価、個数

FAX: 075-463-9045

● 電話でのご注文

下記までご連絡ください。

(株)クレオテック リベルテ

TEL: 075-463-9740

定年退職教員紹介 大学・大学院教員のみご紹介いたします。

※学部別、敬称略

学 部	退職者名
法学部	生田 勝義 教授
	大河 純夫 教授
経済学部	辻井 榮滋 教授
	西口 清勝 教授
	山田 彌 教授
経営学部	柳ヶ瀬 孝三 教授
	松村 勝弘 教授
産業社会学部	中川 勝雄 教授
国際関係学部	中野 雅博 教授

学 部	退職者名
文学部	岡田 英樹 教授
	吉田 甫 教授
総合理工学院理工学部	児島 孝之 教授
	寺井 秀一 教授
	倉辻比呂志 教授
	小川 重義 教授
	津田川 勝 教授
総合理工学院情報理工学部	房岡 璋 教授
総合理工学院生命科学部	吉田 真 教授
言語教育情報研究科	中村 純作 教授

Rマークプロモーションコンテスト開催

校友のみなさんぜひご応募ください!

立命館に関わる人の「心をひとつ」にするため、Rマークが誕生して今年で3年目。2008年、2009年に実施したRマークプロモーションコンテストの受賞作品は、校友大会、Rマークグッズ、在学生向けホームページ「RS Web」などで展開されています。

今年もRマークプロモーションコンテストを開催します。今回は、Web投票によるオープン審査などを新たに導入! みんなが参加し、みんなで選ぶ企画となっています。優秀作品には賞金や商品も進呈。斬新なアイデアをお待ちしています。



プロモーション部門

Rマークを通じて立命館を好きになってもらえる、身近に感じてもらえるようなプロモーションのアイデアを広く募集します。

最優秀賞(1点) 10万円 / 優秀賞(1点) 5万円

※この他にも部門賞を多数用意しています。



Tシャツ部門

Rマークを使ったTシャツのデザインを広く募集します。また、Tシャツを使った簡単なプロモーション案も合わせて募集します。

最優秀賞(1点) 5万円+デザインTシャツを製作 / 優秀賞(1点) 3万円+デザインTシャツを製作

※この他にも部門賞を多数用意しています。



受賞作品が形になったオール立命館校友大会2008 京都駅での缶バッジキャンペーン

参加資格

立命館関係者(学生、生徒、児童、教職員、校友・父母等)

※個人での応募、団体での応募どちらでも可能です。

※両部門へのエントリー、複数企画のエントリーも可能。

応募締切

2010年5月11日(火) 17:30まで

※郵送の場合は当日消印有効

応募方法などの詳細は、下記ホームページよりご欄下さい。

<http://www.ritsumei.jp/r-project/promotioncontest.html>

東京

2010年度 立命館東京キャンパス 立命館京都文化講座のご案内

「明治維新と京都」

コーディネーター 小関 素明(立命館大学教授)

徳川幕府、西南雄藩、そして維新の志士など多くの人々や諸政治勢力の膨大なエネルギーが渦巻く幕末・明治維新期の京都。彼らは何に憤り、何を期待し、何を夢見たのか。京都を拠点に活躍する最先端の研究者がその躍動を活写する連続講座。

<資料請求>

東京キャンパス 03-5224-8188

http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/index_j.html

回	日程	時間	タイトル	担当
第1回	4/24(土)	10:30 ~12:00	桂小五郎と木屋町	青山忠正(佛教大学 教授)
第2回	5/8(土)		黒住教と禁裏御所 幻の八・一七政変	奈良勝司(立命館大学 講師)
第3回	5/22(土)		坂本龍馬三万キロの旅	山崎有恒(立命館大学 教授)
第4回	5/29(土)		明治維新と天皇	高木博志(京都大学 准教授)
第5回	6/5(土)		幕末維新期の鳩居堂	小林丈広(京都市歴史資料館)

●定員 60名

●受講料 全5回 各回3,000円

大阪

2010年度 立命館大阪プロムナードセミナーのご案内

2008年以来、好評を博して参りました「立命館大阪プロムナードセミナー」。今年度も5月から3講座を開講いたします。お早めにお申込みください。

大阪・京都文化講座(前期)「京と大坂一歴史・文化・学問をたどる」

大阪大学21世紀懐徳堂、立命館大学文学部、立命館大阪オフィス 共催

コーディネーター: 桂島 宣弘(立命館大学文学部教授)

回	日程	タイトル	担当
第1回	5/10(月)	近世京都の学問と伊藤仁斎	桂島宣弘(立命館大学 教授)
第2回	5/17(月)	聖武天皇と難波	市 大樹(大阪大学 准教授)
第3回	5/31(月)	冷泉家の歴史と文化	冷泉為人(立命館大学 客員教授)
第4回	6/14(月)	淀川治水を通してみた江戸幕府畿内治水政策の転換	村田路人(大阪大学 教授)
第5回	6/28(月)	昭和の幕開けと京都	小関素明(立命館大学 教授)
第6回	7/5(月)	モダン都市大阪の衛生・疾病・環境	廣川和花(大阪大学総合学術博物館 助教)
第7回	7/12(月)	作られた「京都」らしさと景観	中本 大(立命館大学 教授)
第8回	7/26(月)	大阪財界人の文化活動一懐徳堂記念会の設立とその周辺一	飯塚一幸(大阪大学 教授)

●定員 80名

●受講料 全8回受講 13,000円 ※1回ずつの場合は2,000円/回

いずれの講座も

●会場 立命館アカデミア@大阪 6階 6Aセミナールーム

※立命館アカデミア@大阪は、2011年1月より梅田に移転いたします。

詳細については、追って大学ホームページ等でお知らせいたします。

●時間 14:00 ~ 15:40(講演90分、質疑応答10分)

●問い合わせ・申込み先 立命館大阪オフィス 電話: 06-6201-3610

木津川計 生活文化講座

講師: 木津川 計(『上方芸能』発行人、元立命館大学教授、和歌山大学客員教授)

回	日程	タイトル
第1回	5/14(金)	<葬式と結婚式>の風景はなぜ変わるのか
第2回	7/9(金)	<道楽>はなぜ貶(おとし)められたのか
第3回	9/10(金)	<趣味人>はなぜ国語辞典に収められないのか
第4回	11/12(金)	<自己責任>はなぜ生み出されたのか
第5回	2011/1/14(金)	<生涯学習力>はなぜ強められなければならないのか
第6回	2011/3/11(金)	<都市格>を大阪はなぜ低下させたのか

●定員 100名

●受講料 全6回受講 6,000円 ※1回ずつの場合は1,500円/回

安斎育郎「折々の談一自然・人間・社会を語る」

講師: 安斎 育郎(立命館大学国際関係学部教授)

回	日程	タイトル
第1回	5/24(月)	古稀を迎えまた一杜甫『曲江』のこと
第2回	7/20(火)	バンキン爆弾、トップレス&月面着陸
第3回	9/13(月)	琉球人が展示された人間館事件
第4回	11/15(月)	ケブラーの忌日に占星術を語る
第5回	2011/1/17(月)	十二支にはなぜネコがいない?
第6回	2011/3/14(月)	科学者と宗教者—それぞれの役割

●定員 100名

●受講料 全6回 6,000円 ※1回ずつの場合は1,500円/回

京都の町屋を改修して、 学生向けのコレクティブハウスへ

～地域から学び、地域に貢献する～

●●● さいじょう かおる さん（産業社会学部 3 回生） 福島加南子 さん（産業社会学部 2 回生）

Kanako
Fukushima

Kaoru
Saijo

みなさんは学生時代どんな家に住んでいましたか。

京町家のような京都らしい家に住んでみたいと思ったことがある人もいないのでしょうか？

このたび、産業社会学部の学生が、京都の古い町家を学生向けのコレクティブハウス「こまちや」に改修しました。

京町家の魅力を次の世代にも伝えていきたい。

そういった思いで改修に携わった西條薫さんと福島加南子さんにお話を伺いました。

Q 今回、なぜ町家を改修しようと思われたのですか。また、町家の魅力はどんなところでしょうか。

西條：京都で学生生活を送る中で、町家を使ったカフェなど、実際に「町家」を見かけることが頻繁にあって、「素敵だな」と魅力を感じていました。改修に携わったきっかけは、産業社会学部 乾亨先生の「研究企画」の授業に参加したことです。

京都の老舗の油屋さん「山中油店」から乾先生に「町家を改修して学生向けの住まいを作る計画があるので、ぜひ学生さんにも協力してもらいたい」という相談があったことがきっかけとなり、授業の一環として始まりました。

福島：町家には「古い」というイメージがありますが、落ち着いた木のぬくもりの中で四季を感じることが出来るなど、様々な魅力があります。中庭があって風通しが良かったり、最近作られたマンションなどとは違った趣があります。今は、古いものをすぐに新しく変えてしまうことが多いですが、古いものには、昔の人の知恵と工夫がつまっています。そういうところも若い人たちに伝

えていきたいですね。

私たちは今回、改修した町家を「こまちや」と名づけました。「こまちや」は「Co 町家」、英語の Co が「共同」という意味。「ともに住む町家」を意味しています。あとは、女性向けの賃貸住宅なので「小町」という意味もかけています。

Q 今回、古い町家を改修して、学生向けの住まいにする中で、こだわった点や苦労した点はどんなところですか。

福島：内装や家電にはすごくこだわりました。まず、「こまちや」は女子学生が 3 人で生活をする、という前提があります。ですから、私たち女子大生の感覚で「あったらいいな」と思うものを山中油店さんや工務店さんに提案しました。例えば、共有部分のキッチンのコンロは 3 つ付けましたし、玄関に靴を履いた状態で全身を写すことの出来る鏡を置きました。大学生である私たちの感覚を町家に取り入れる事にはこだわりました。

西條：3 人で暮らす「シェアハウス」という部分では苦労しました。「こまちや」を作るにあたり、学生たちに需要調査をしました。そこで見えてきたこととして、一つの部屋を共有する「シェアハウス」は、お金の節約のために数名で暮らすことだと考えている学生が多かったということ。その中で、特段安い訳でもない町家の家賃を払いつつ、共同で生活をしたいと思う学生がいるのか、という疑問が出てきたのです。

そこで私たちは、新しく「コレクティブハウス」という概念を考えました。これは「シェアハウス

とは少し違って、それぞれの住民がプライベートの住居は保ちつつも、みんなで使ういくつかの共有スペース

を持って生活の一部を共同化する、という考え方です。「ただいま」というと

「おかえり」といってくれる人がいる。少し家賃が高くても、そんな生活も素敵だと思ったのです。



オープンハウス当日

Q 最後に、今後の目標を教えてください。

福島：私は、産業社会学部の人間福祉専攻に所属しています。今回の町家改修を通して、町家のように地域と住まいが密着している所では、人々が助け合って生活していることを知りました。地域の人々が助け合うということは、福祉の基礎であるといえます。今回、「こまちや」プロジェクトを通じて、地域福祉にも興味を持つようになったので、これからもっと勉強したいと思います。

西條：今回のことがきっかけとなって「町家」の需要が増えることを期待しています。より多くの人に町家暮らしを楽しんでもらいたいです。

また、「地域、福祉に力を入れた町づくり」をテーマに、4 回生でもゼミを続けていきたいと思っています。大学では、机で学ぶだけでなく、外へ飛び出して、アイデアを形にすることまでできます。一步踏み出して動いてみることの大切さを実感しました。



完成後おつかれさん会

校友会・グループ インフォメーション

※(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先	
第4回立命寄席	4/24(土) 18:30	天満天神繁昌亭	校友会事務局	075(813)8216
奈良県北部校友会(立命若草会)発足記念総会	5/9(日) 16:00	ホテル日航奈良	西田 晴彦	0742(22)2853
京都校友会総会	6/6(日) 午前中予定	衣笠キャンパス末川記念会館大講義室	校友会事務局	075(813)8216
新潟県校友会総会	6/19(土) 13:30	万代シルバーホテル	小畑 正敏	025(247)2478
長野県校友会総会	6/20(日) 14:30	松本東急イン	降幡 信秀	0263(25)0279
落語研究会45周年記念落語会	6/26(土) 13:30	ウイングス京都イベントホール	大澤 優一	090(5440)0828
富山県校友会総会	6/26(土) 15:30	名鉄トヤマホテル	吉野 久幸	(職)076(431)2201
神奈川県校友の集い(総会&懇親会)	7/3(土) 14:00	崎陽軒本店	長谷川貞栄	045(933)4662
徳島県校友会総会	7/3(土) 16:30	阿波観光ホテル	宮崎 房子	088(645)0897
香川県校友会総会	7/10(土) 16:00	ホテルパールガーデン	穴吹 学	087(862)3565
南和会総会	7/10(土) 10:00	檀原ロイヤルホテル	杉本 昭司	0744(46)0985

新校友歓迎会のお知らせ

場 所	日 時	企画名	会場・会費など	お問合せ先・参照URL	主 催
大 阪	5/15(土) 14:00 (予定)	関西新校友歓迎会	【会場】ラ・ロシェル大阪(地下鉄御堂筋線「本町駅」徒歩1分) 大阪市中央区本町3-3-5 つるやゴルフ本店B1F 【会費】新卒者1000～2000円の予定	HP http://alumni.ritsumei.jp/ http://alumni.ritsumei.jp/reconnect/	立命館大学校友会、 大阪校友会、京都校友会、 滋賀県校友会、兵庫県校友会、 奈良県校友会、和歌山県校友会
長 崎	5/15(土) 18:00	長崎県校友会 平成22年3月 卒業生歓迎会	【会場】ホテルニュータnda(長崎電鉄「市民病院前電停」徒歩3分) 長崎市常盤町2-24 【会費】新卒者1500円、既卒者3500円(いずれも男女共)	お電話にてお申込みください。 (株)長崎ガードシステム気付 長崎県校友会事務局 TEL 095-825-3795	長崎県校友会
博 多	5/22(土) 18:00	立門会 (立命館ウェルカムパーティー)	【会場】博多表邸(西鉄「福岡天神駅」徒歩6分) 福岡市中央区今泉2-4-28 VOID福岡1～3F 【会費】新卒者2000円、女性および'00～'09卒者3000円、'99以前卒男性5000円	福岡県校友会事務局(大成印刷内) TEL 092-472-2621 HP http://fukuokarits.com/	福岡県校友会
名古屋	5/29(土) 17:00 (予定)	東海地区 新校友歓迎会	【会場】チカミチグルメRuede758(JR・名鉄「名古屋駅」徒歩1分) 名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビルB1F 【会費】新卒者1000～2000円の予定	HP http://alumni.ritsumei.jp/ http://alumni.ritsumei.jp/reconnect/	立命館大学校友会、 愛知県校友会、三重県校友会、 岐阜県校友会、静岡県校友会
東 京	5/29(土) 18:00 (予定)	関東新校友歓迎会	【会場】カフェラ・ポエム骨董通り店(東京メトロ「表参道駅」近く) 東京都港区南青山6-2-2 南青山ホームズB1F 【会費】新卒者1000～2000円の予定	HP http://alumni.ritsumei.jp/ http://alumni.ritsumei.jp/reconnect/	立命館大学校友会、 東京校友会、神奈川県校友会、 埼玉県校友会、千葉県校友会
熊 本	6/19(土) 18:00	熊本県校友会 新歓コンパ	【会場】ジャンジャンゴー(セカンドサイト) 熊本市花畑町13-10 【会費】新卒者、および女性校友2000円、20代男性校友3000円、30代以上男性校友5000円	熊本県校友会事務局 TEL 096-322-2566	熊本県校友会
北九州	6/19(土) 19:00	北九州校友会 オール立命館 ウェルカムパーティー'10	【会場】トラベル・カフェ(JR小倉駅直結) 北九州市小倉北区浅野1-1-1 ステーションホテル小倉1F 【会費】新卒者2000円、女性および平成卒者3000円、一般男性校友5000円	北九州校友会事務局 E-mail rkitaq@yahoo.co.jp HP http://alumni.ritsumei.jp/kitakyusyu/	北九州校友会青年部

立命館大学入学式のご案内

日 時:4月1日(木)開場13時、開式14時～(予定)

会 場:京セラドーム大阪(入場無料)

◆参観お申し込み方法

電話、FAX、電子メールのいずれかにて、入学式参観希望の旨をご明記の上、住所、氏名、卒年、学部を校友会事務局にお知らせください(事務局連絡先は冊子の裏表紙をご覧ください)。

◆締切:3月25日(木)事務局必着

*お申込みなき方にはご参観いただけません。

校友消息(判明分)

就任(内定含む)

山村英司氏('69経済)
(株)オーエム製作所
取締役社長

渡邊 泰氏('76経営)
(株)ソフト99コーポレーション
代表取締役社長

後藤雅彦氏('77経済)
(株)シアアイエス
社長

中井博之氏('86理工)
(学)共栄学園
理事長

訃報

柊 茂氏
(本学名誉教授・校友会顧問・校友会元副会長)
1月11日ご逝去。81歳。

藤村公輝氏
(本学名誉教授)
1月22日ご逝去。71歳。

山内良樹氏
(本学名誉教授)
1月29日ご逝去。79歳。

水田 潤氏
(本学名誉教授)
1月31日ご逝去。84歳。

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただいております。

◆浪江 巖氏(本学名誉教授)著

『労働管理の基本構造』
晃洋書房*3300円+税

◆伊藤安男氏('52文)著

『洪水と人間』
古今書院*4000円+税

◆松永勝彦氏('64理工)著

『森が消えれば海も死ぬ 第2版』
講談社*800円+税

◆田中英樹氏('65理工)著

『地球環境の健全化へ向けた人類の役割』
東京図書出版会*1400円+税

◆森田 薫氏('69法)他著

『教師 魂の職人であれ』
ミネルヴァ書房*1800円+税

◆西村和人氏('71産社)著

『最新 介護施設の人事・労務管理と就業規則』
日本法令*2900円+税

◆田中一正氏('75理工)著

『北欧のノーマライゼーション』
TOTO出版*1400円+税

◆吉間正利氏('79法)著

『教育クライシス』
文芸社*1500円+税

◆香川貴志氏('86院文)著

『パンクパーはなぜ世界一住みやすい都市なのか』
ナカニシヤ出版*1800円+税

◆富尾和方氏('98文)著

『南へー高知県人中南米移住100年』
高知新聞社*1524円+税

◆小沢道紀氏('99院経営)他著

『ドロッカー思想と現代経営』
晃洋書房*2500円+税

◆藤井哲也氏('01法)著

『その会社、入ってはいけません!ダメな会社を見分ける50の方法』
ソシム*1200円+税



春は、 学び舎を旅立つ時、また、新たな出会いの季節でもある。庭の水仙の若芽は確実に春を手招きしている。30万人を超える校友の皆さんは、何時の時代か、あの広小路学舎で、衣笠学舎で、そしてびわこ・くさつキャンパスで、また2000年からはAPUのキャンパスで、熱き仲間と学生時代を送り、時代を斬り、未来の夢を語り合った。経済の動向に左右されながら、荒波渦巻く社会に巣立ち、誠実と信頼を力に今を生き抜いている。学生時代の仲間と語る機会も少なくなっている。しかし、頭を上げて、周りを見直すと、其処には必ず先輩校友がおり、夢を抱いている後輩がいる。今や、全国都道府県にとどまらず、世界各地に校友会がある。新しい年度の始まるこの機会に是非、同じ学び舎で喜怒哀楽を共にした同窓生を訪ねてほしいものだ。また、同窓生校友と繋がってほしいものだ。

京都市内で環境問題に関わり、日々多くの方々と議論、実践、ワークショップ、そして地域の環境保全活動に参加している。必ず校友と出会う。心開いて語り合えるのだ。なぜなら“Be positive, active and sometimes aggressive with enterprising spirits.”を共感するからだ。 (KAZ中村)

昨秋 の学園祭企画に、学生法律相談部がBKCで開学以来10年ぶりに出張法律相談を行なったので、OBとして参加しました。開催前の早朝にBKCを散策すると、前回からその様子を変貌させ、すっかり根付いた緑の中に、新たに近代的ないくつかの文系学部と薬学系の校舎が威容を誇り、併せてスポーツ系新学部の校舎建設工事の槌音が聞こえていました。

同日午後からは衣笠学園祭へ。法学部同窓会新企画として2回目の出店となる「無料喫茶室」に顔を出しました。ここも各種イベントの合間に、ちょっと一休みの多くの方で賑っていました。

大学の新しい校舎や学部、学部同窓会の新しい企画。我が「りつめい」も新しい編集担当者の若い感性の下でこの号から紙面を刷新しています。そして本紙特集の学園の新企画、6月の「ホームカミングデー」。当日は様々な“新しい息吹き”が感じられる学園で、読者の皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

(宮西徳明)

龍馬 人気は日々うなぎのぼりだ。NHK大河ドラマの放映前から出版点数3桁といわれる龍馬本の刊行ラッシュに加え、龍馬ゆかりの地にはオフシーズン、平日にかかわらず、観光客が押し寄せているという。もともとファンの多い龍馬だが、中高年や「歴女」と呼ばれる女性ファンをはじめ、さまざまな人びとが、もっと詳しく知ろうと、その生き方や歴史に興味をもつ傾向は、とても興味深い。

龍馬関連のイベントやフォーラムが催されるなかでも、昨年「京都歴史回廊協議会」が主催したフォーラムは、本物を深く知りたい歴史ファンをも満足させる内容だった。今年3月に行われた第2回目のフォーラムも募集開始後すぐに定員に達する盛況ぶり。同会は京都・洛西地域の文化的、歴史資源を活用、地域活性化につなげるため設立されたもので、同会の幹事には立命館校友もおり、事務局は立命館大学社会連携課が担当する。フォーラムのほか、地域住民が隠れた文化資源などを発掘し、ツアーとする企画など多彩な活動もユニークである。

本物を求めて訪れる歴史文化ファンと本物を提供する地域住民との交流は、「目利き」を育て、さらに豊かな地域文化の土壌をつくるのに今後ますます必要になる。ぜひ活動にも参加を。 (山岡祐子)

昨年 12月より立命館大学に入職し、校友・父母課に着任させて頂きました。卒業して早7年。卒業当時はまさか母校で働く時が来るとは思っていませんでしたが、久しぶりにキャンパスに足を運んでみると学生時代の思い出が蘇り、母校で働く実感と喜びが沸いてきました。

また、校友会のお仕事を通じて全国各地の諸先輩方とお会いさせて頂く機会が増えました。皆さん、母校への愛着と誇りをお持ちでいらっしゃる、改めて立命館に入学して良かったと母校を好きになりました。それと共に校友・父母課の仕事に大きな使命感も感じております。校友会活動を通じて、学生のみならず校友の皆様にとっても母校を誇りに感じて頂きたいです。立命館はこれからも進化を続け、そのカタチは時代に合わせて変化していくと思いますが、「立命館らしさ」という内面を変えることなく、色んな世代の方に「立命館らしさ」を感じてもらい瞬間やきっかけを少しでも多く生み出していきたいと思っています。

まだまだ勉強不足の所も多々ございますが、全力で頑張りますのでご指導・ご鞭撻の程よろしく願いいたします。全国の校友の皆様とお会いできる事を心から楽しみにしております。

(森山寛)



りつめい No.240／2010年4月号

発行所／立命館大学校友会／年4回発行

発行人／山中 諄

編集人／中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp